

資料

辻邦生著作文献目録 (2)

Le répertoire des oeuvres de Kunio Tsuji

佐々木 溼*

SASAKI Thoru

前号(第18巻第3号)に引き続いて辻邦生の著作作品の目録を掲載する。

1974年1月(昭和49)

401. 『秋の朝 光のなかで』文芸【収録誌1】『筑摩現代文学体系・87 北杜夫・辻邦生集』筑摩書房, 1976年3月15日(昭和51)【収録誌2】『秋の朝 光のなかで』筑摩書房, 1976年8月20日(昭和51)【収録誌3】『見知らぬ町にて』新潮文庫, 1977年7月30日(昭和52)【収録誌4】『辻邦生全短篇』中央公論社, 1978年10月5日(昭和53)【収録誌5】『辻邦生全短篇2』中公文庫, 1986年6月10日(昭和61)【収録誌6】『遠い園生』阿部出版, 1990年11月30日(平成2)
402. 『小説のイデーとイメージ 辻邦生の文学をめぐる』対談(菅野昭正) 国文学解釈と鑑賞〈辻邦生特集〉【収録誌1】『灰色の石に坐りて』中央公論社, 1974年7月10日(昭和49)【収録誌2】『灰色の石に坐りて』中公文庫, 1978年1月10日(昭和53)
403. 『人間精神の祝典としてのドラマ』対談(浅利慶太), 劇団「四季」パンフレット【収録誌1】『灰色の石に坐りて』中央公論社, 1974年7月10日(昭和49)【収録誌2】『灰色の石に坐りて』中公文庫, 1978年1月10日(昭和53)
404. 『日々の慰め』『グランド世界美術』講談社, 推薦文【収録誌】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974~1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)
405. 『亡命者たち』—黄いろい場所からの挿話・I, —ある生涯の七つの場所・1—, 海【収録誌1】『霧の聖マリ—ある生涯の七つの場所1』中央公論社, 1975年2月28日(昭和50)【収録誌2】『霧の聖マリ』中公文庫, 1992年2月10日(平成4)

1月10日

406. 『あとがき—〈海辺の墓地から〉』『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集, 新潮社
407. 刊行: 『海辺の墓地から』辻邦生第一エッセー集, 新潮社
408. 『劇的情感の構図』朝日新聞 夕刊【収録誌】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974~1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)

1月11日

409. 『自然への回帰の旅』毎日新聞【収録誌】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974~1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)

2月

410. 『書くことは生きること』波

* 教授

411. 『ハドリアヌスの城壁を訪ねて』学燈【収録誌1】『詩への旅 詩からの旅』筑摩書房, 1974年12月17日(昭和49)【収録誌2】『紀行全集世界体験・5』中央公論社, 1978年11月24日(昭和53)【収録誌3】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974~1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)【収録誌4】『地中海幻想の旅から』レグルス文庫, 1990年5月30日(平成2)
412. 『ファンタジーの根拠』子どもの館 第9号【収録誌】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974~1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)
413. 『雪の前 雪のあと』一赤い場所からの挿話・I, 一ある生涯の七つの場所・2一, 海【収録誌1】『霧の聖マリーある生涯の七つの場所1』中央公論社, 1975年2月28日(昭和50)【収録誌2】『霧の聖マリー』中公文庫, 1992年2月10日(平成4)
2月10日
414. 『あとがき—北の森から』『北の森から』新潮社
415. 刊行:『北の森から』辻邦生第二エッセー集1971~1972, 新潮社
2月20日
416. 『体験と文学』対談(福本義典) 福本義典編『日本人の芸談』新人物往来社
2月28日
417. 『アテネ・アカデミア街で』日記『パリの手記Ⅳ 岬そして啓示』【収録誌1】『時の果実』朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)【収録誌2】『世界知の旅<1 神々とユーゲ海の誘惑>』小学館, 1987年1月10日(昭和62)
418. 『タラント駅待合室で』日記『パリの手記Ⅳ 岬そして啓示』【収録誌】『時の果実』朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)
419. 刊行:『パリの手記Ⅳ 岬そして啓示』日記, 河出書房新社【収録誌1】『パリの手記』河出書房新社, 1975年5月20日(昭和50)【収録誌2】『パリの手記Ⅳ 岬そして啓示』河出文庫, 1984年10月4日(昭和59)【収録誌3】『世界知の旅<1 神々とユーゲ海の誘惑>』小学館, 1987年1月10日(昭和62)
3月
420. 『女たちの館』一黄いろい場所からの挿話・II一ある生涯の七つの場所・3一, 海【収録誌1】『霧の聖マリーある生涯の七つの場所1』中央公論社, 1975年2月28日(昭和50)【収録誌2】『霧の聖マリー』中公文庫, 1992年2月10日(平成4)
421. 『身辺昨今』歴史と文学 第七号【収録誌】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974~1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)
422. 『眞屋の海への旅—連載小説に関する二, 三のこと』すばる
423. 『わが芝居の周辺—大塚春長のこと』群像【収録誌1】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974~1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)【収録誌2】『星陵の日々—入学五十周年記念文集』昭和十七年如蘭会, 1988年10月28日(昭和63)
3月13日
424. 『心の「優しさ」について』(原題「よみがえれ心の<優しさ>よ」) 信濃毎日新聞【収録誌】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974~1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)
3月30日
62. 刊行:『北の岬』(短篇集) 新潮文庫
4月
425. 『落葉のなか』一赤い場所からの挿話・II, 一ある生涯の七つの場所・4一, 海【収録誌1】『霧の聖マリーある生涯の七つの場所1』中央公論社, 1975年2月28日(昭和50)【収録誌2】『霧の聖マリー』中公文庫, 1992年2月10日(平成4)
426. 『自然という詩集の前で』ひろば【収録誌】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974~1975,

新潮社, 1979年10月30日(昭和54)

4月2日

427. 『空気のきらめき』(原題『空気のきらめき—セザンヌの世界—) 読売新聞【収録誌1】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974~1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)【収録誌2】『橄欖の小枝』中央公論社, 1980年11月30日(昭和55)

4月30日

428. 刊行:『パリの手記V 空そして永遠』日記, 河出書房新社【収録誌1】『パリの手記』河出書房新社, 1975年5月20日(昭和50)【収録誌2】『パリの手記V 空そして永遠』河出文庫, 1984年11月4日(昭和59)

429. 『〈パリの手記〉の終りに』『パリの手記V 空そして永遠』河出書房新社

5月

430. 『印象のなかの福永武彦』新潮社『福永武彦全小説第8巻』月報【収録誌1】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974~1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)【収録誌2】『時の果実』朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)

431. 『霧の聖マリ』—黄いろい場所からの挿話・Ⅲ, —ある生涯の七つの場所・5—, 海【収録誌1】『霧の聖マリ—ある生涯の七つの場所1』中央公論社, 1975年2月28日(昭和50)【収録誌2】『昭和文学全集〈辻邦生 小川国夫 加賀乙彦 高橋和巳 倉橋由美子 田久保英夫 黒井千次〉』第20巻, 小学館, 1987年4月1日(昭和62)【収録誌3】『霧の聖マリ』中公文庫, 1992年2月10日(平成4)

432. 『パリの遠近』日本近代文学館 第19号【収録誌】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974~1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)

5月2日

433. 『モナリザの前で』朝日新聞 夕刊【収録誌1】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974~1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)【収録誌2】『橄欖の小枝』中央公論社, 1980年11月30日(昭和55)【収録誌3】『時の果実』朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)

5月20日

434. 『まえがき—〈モンマルトル日記〉』(改題「〈モンマルトル日記〉によせて」) 集英社【収録誌】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974~1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)

435. 刊行:『モンマルトル日記』1968~1969, 日記, 集英社【収録誌】『モンマルトル日記』集英社文庫, 1979年4月25日(昭和54)

5月29日

436. 『「到達できない欲望」の意味』毎日新聞【収録誌】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974~1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)

6月

437. 『ウェル・メイドへの偏愛』『もしもあの時』公演パンフレット, 劇団「樗」【収録誌】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974~1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)

438. 『時間のなかの歴史と小説』歴史と文学 第八号【収録誌】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974~1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)

439. 『日本の森 ヨーロッパの森』朝日ジャーナル【収録誌】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974~1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)

440. 『プールのよみがえり』波【収録誌1】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974~1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)【収録誌2】『時の果実』朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)

441. 『母性をこえるもの』『岡本かの子全集第2巻』月報, 冬樹社【収録誌】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974~1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)

442. 『北海のほとり』—赤い場所からの挿話・Ⅲ, 一ある生涯の七つの場所・6一, 海【収録誌1】『霧の聖マリー—ある生涯の七つの場所1』中央公論社, 1975年2月28日(昭和50)【収録誌2】『霧の聖マリー』中公文庫, 1992年2月10日(平成4)
443. 『真昼の海への旅』すばる 16号(74/6月) 17号(9月) 18号(12月) 19号(75/3月) 20号(6月)【収録誌1】『真昼の海への旅』集英社, 1975年8月10日(昭和50)【収録誌2】『真昼の海への旅』愛蔵版, 集英社, 1975年8月20日(昭和50)【収録誌3】『真昼の海への旅』新潮文庫, 1979年10月25日(昭和54)
444. 『南イングランドから』(原題「南イングランドの印象から」) 風景【収録誌1】『詩への旅 詩からの旅』筑摩書房, 1974年12月17日(昭和49)【収録誌2】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974~1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)【収録誌3】『地中海幻想の旅から』レグルス文庫, 1990年5月30日(平成2)
- 6月10日
145. 刊行:『若き日と文学と』中公文庫
- 7月
445. 『ロザリーという女』—黄いろい場所からの挿話・Ⅳ, 一ある生涯の七つの場所・7一, 海【収録誌1】『霧の聖マリー—ある生涯の七つの場所1』中央公論社, 1975年2月28日(昭和50)【収録誌2】『霧の聖マリー』中公文庫, 1992年2月10日(平成4)
- 7月1日
446. 『漱石の足跡——松山から熊本まで』『現代日本文学アルバム第2巻 夏目漱石』学習研究社【収録誌1】『詩への旅 詩からの旅』筑摩書房, 1974年12月17日(昭和49)【収録誌2】『夏目漱石』〈人と文学シリーズ 現代日本文学アルバム〉学習研究社, 1979年6月10日(昭和54)【収録誌3】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974~1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)
- 7月10日
447. 『対談への弁明』『灰色の石に坐りて』あとがき, 中央公論社【収録誌】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974~1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)
448. 刊行:『灰色の石に坐りて』対談集(北杜夫, 遠藤周作, 篠田一士, 古屋健三, 丸谷才一, 菅野昭正, 浅利慶太らとの対談)中央公論社【収録誌】『灰色の石に坐りて』中公文庫, 1978年1月10日(昭和53)
- 7月20日
449. 『坐の文学—芭蕉をめぐる—』対談(尾形仿), 『日本の詩歌—一人磨・家持・貫之・定家・芭蕉—』河出書房新社
- 7月30日
75. 刊行:『安土往還記』(限定版)湯川書房
64. 刊行:『夏の砦』(限定版)河出書房新社
- 8月
450. 『芥川文学と私』国文学解釈と観賞〈アンケート〉【収録誌】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974~1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和5)
451. 『坂の下の家』—赤い場所からの挿話・Ⅳ, 一ある生涯の七つの場所・8一, 海【収録誌1】『霧の聖マリー—ある生涯の七つの場所1』中央公論社, 1975年2月28日(昭和50)【収録誌2】『霧の聖マリー』中公文庫, 1992年2月10日(平成4)
452. 『彫刻の昼 彫刻の夜』『世界彫刻美術全集』推薦文, 小学館【収録誌】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974~1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)
453. 『バルザックの開くもの』『バルザック全集第11巻』月報, 東京創元社【収録誌1】『季節の宴から』

- ら』辻邦生第四エッセー集1974～1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)【収録誌2】『時の果実』朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)
25. 刊行:『ある晩年』(限定版)吾八ぶれす
25. 刊行:『ある晩年』(特製版)吾八ぶれす
- 9月
454. 『回想のなかのゴシック』『大系世界の美術 第12巻』学習研究社【収録誌1】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974～1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)【収録誌2】『橄欖の小枝』中央公論社, 1980年11月30日(昭和55)【収録誌3】『時の果実』朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)【収録誌4】『地中海幻想の旅から』レグルス文庫, 1990年5月30日(平成2)
455. 『詩人のヴェール』『井上靖小説全集第19巻』月報, 新潮社【収録誌1】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974～1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)【収録誌2】『時の果実』朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)
456. 『書架の前の断章・2』新潮選書推薦文【収録誌】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974～1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)
457. 『書架の前の断章・4』(原題「詩のなかの散策のために」), 『日本現代詩体系』河出書房新社【収録誌】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974～1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)
458. 『詩を支えるもの』俳句【収録誌】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974～1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)
459. 『鉄橋』—黄いろい場所からの捜話・V, —ある生涯の七つの場所・9—, 海【収録誌1】『霧の聖マリーある生涯の七つの場所1』中央公論社, 1975年2月28日(昭和50)【収録誌2】『霧の聖マリー』中公文庫, 1992年2月10日(平成4)
460. 『夜の歌』(原題「私の好きなレコード」)レコード芸術【収録誌1】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974～1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)【収録誌2】『橄欖の小枝』中央公論社, 1980年11月30日(昭和55)【収録誌3】『時の果実』朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)【収録誌4】『日本の名随筆 72 夜』作品社, 1988年10月25日(昭和63)【収録誌5】諸井誠編『名随筆選 音楽の森④レコードと私』音楽之友社, 1989年7月25日(平成1)
- 9月15日
6. 刊行:『遠い園生』(限定版)鶴声居
- 10月
461. 『帰ってきた人』—赤い場所からの挿話・V, —ある生涯の七つの場所・10—, 海【収録誌1】『霧の聖マリーある生涯の七つの場所1』中央公論社, 1975年2月28日(昭和50)【収録誌2】『霧の聖マリー』中公文庫, 1992年2月10日(平成4)
462. 『書架の前の断章・1』『新選100冊の本』推薦文, 岩波文庫【収録誌】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974～1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)
463. 『ヘッセの時』高橋健二『ヘルマン・ヘッセ』新潮選書, 推薦文【収録誌】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974～1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)
464. 『〈弁明〉を読んだ頃』『プラトン全集第2巻』月報, 岩波書店【収録誌】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974～1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)
465. 『モーツァルト断章』『世界の名曲・追巻3』中央公論社【収録誌1】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974～1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)【収録誌2】『橄欖の小枝』中央公論社, 1980年11月30日(昭和55)【収録誌3】『時の果実』朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)
- 10月1日
466. 『エロス 文学することの根源的刺激』上智新聞〈インタビュー〉

10月5日

467. 『フトーから吹いてくる風』(原題「この一枚—ヨーロッパ絵画名作展」) 日本経済新聞 夕刊【収録誌1】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974~1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)【収録誌2】『橄欖の小枝』中央公論社, 1980年11月30日(昭和55)

11月

468. 『〈英国の文学〉を読んだ頃』吉田健一『ポエティカ**』付録, 小沢書店【収録誌】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974~1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)
469. 『国分寺に暮らした頃』郵政【収録誌1】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974~1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)【収録誌2】エッセー集『ベストエッセイ ことばの宝石箱』ぎょうせい, 1990年6月1日(平成2)
470. 『燕のくる町』—黄いろい場所からの挿話・VI, 一ある生涯の七つの場所・11—, 海【収録誌1】『霧の聖マリーある生涯の七つの場所1』中央公論社, 1975年2月28日(昭和50)【収録誌2】『霧の聖マリ』中公文庫, 1992年2月10日(平成4)
471. 『日本語を愛するとは—日本語のために—を読む』対談(大野晋) 波【収録誌1】『日本語を考える』大野晋編, 中央公論社, 1975年11月20日(昭和50)【収録誌2】『日本語を考える』大野晋編, 中公文庫, 1979年10月10日(昭和54)
472. 『幕あきを待ちながら』オペラ「ボセイドン仮面祭」パンフレット【収録誌】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974~1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)

12月

473. 『ある願い』「ラ・アルプ」劇団四季機関紙【収録誌】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974~1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)
474. 『海のもくこうからの手紙』—赤い場所からの挿話・VI, 一ある生涯の七つの場所・12—, 海【収録誌1】『露の聖マリーある生涯の七つの場所1』中央公論社, 1975年2月28日(昭和50)【収録誌2】『霧の聖マリ』中公文庫, 1992年2月10日(平成4)

12月10日

107. 刊行:『背教者ユリアヌス・上』中公文庫

12月17日

475. 刊行:『詩への旅 詩からの旅』紀行集, 筑摩書房
476. 『旅の前 旅の後—あとがきにかえて』『詩への旅 詩からの旅』筑摩書房
1975年1月(昭和50)
477. 『風越峠にて』文学界【収録誌1】『秋の朝 光のなかで』筑摩書房, 1976年8月20日(昭和51)【収録誌2】『見知らぬ町にて』新潮文庫, 1977年7月30日(昭和52)【収録誌3】『辻邦生全短篇』中央公論社, 1978年10月5日(昭和53)【収録誌4】『辻邦生全短篇2』中公文庫, 1986年6月10日(昭和61)【収録誌5】『昭和文学全集(辻邦生 小川国夫 加賀乙彦 高橋和巳 倉橋由美子 田久保英夫 黒井千次)』第20巻, 小学館, 1987年4月1日(昭和62)
478. 『暮れ方の光景』—黄いろい場所からの挿話・VII, 一ある生涯の七つの場所・13—, 海【収録誌1】『夏の海の色—ある生涯の七つの場所2』中央公論社, 1977年1月20日(昭和52)【収録誌2】『霧の聖マリ』中公文庫, 1992年2月10日(平成4)
479. 『修学院への道』(原題「『後水尾』の美」) 藝術新潮【収録誌1】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974~1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)【収録誌2】『橄欖の小枝』中央公論社, 1980年11月30日(昭和55)【収録誌3】杉本秀太郎・平井聖 編『日本美を語る 十巻一佳所薄明一御所, 離宮, 茶室』ぎょうせい, 1989年10月1日(平成1)
480. 『第4回輔仁会雑誌賞 選評』学習院輔仁会雑誌 No.198

481. 『ディケンズの意味』(原題「ディケンズの真相」)『筑摩世界文学体系 第34巻』月報, 筑摩書房
【収録誌】季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974~1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)
1月3日
482. 『日本型カルチャーの透視図』対談(色川大吉), 朝日ジャーナル, 1月3日・10日合併号【収録誌】『文明横義』色川大吉対談集, 日本書籍, 1979年3月20日(昭和54)
1月10日
107. 刊行: 『背教者ユリアヌス・中』中公文庫
1月16日
483. 『大いなる聖樹の下』(原題「インドの旅から」) 毎日新聞【収録誌1】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974~1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)【収録誌2】『地中海幻想の旅から』レグルス文庫, 1990年5月30日(平成2)
2月10日
107. 刊行: 『背教者ユリアヌス・下』中公文庫
2月28日
484. 『あとがきー〈霧の聖マリ〉』『霧の聖マリーある生涯の七つの場所1』中央公論社
485. 刊行: 『霧の聖マリーある生涯の七つの場所1』連作短篇小説集, 中央公論社
3月
486. 『インド変容』波【収録誌1】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974~1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)【収録誌2】『時の果実』朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)【収録誌3】石牟礼道子編集『日本の名随筆 86 祈』作品社, 1989年12月25日(平成1)【収録誌4】『地中海幻想の旅から』レグルス文庫, 1990年5月30日(平成2)
487. 『時間と人間』国文学 井上靖特集【収録誌】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974~1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)
3月17日
488. 『想像の森の中の小径』朝日新聞【収録誌】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974~1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)
4月15日
489. 『私のなかの北杜夫』(原題「北杜夫の世界」) 別冊新評 SPRING【収録誌1】『北杜夫の世界』新評社, 1979年6月1日(昭和54)【収録誌2】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974~1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)【収録誌3】『時の果実』朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)【収録誌4】安岡章太郎 編『日本の名随筆 81 友』作品社, 1989年7月25日(平成1)
5月
490. 『書架の前の断章・3』(原題「絵画を横ぎるもの」) 中央公論社『日本の名画』【収録誌】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974~1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)
491. 『丸谷オーのなかの羅針盤』筑摩書房『現代文学体系第88巻』月報【収録誌】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974~1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)
5月20日
- 379, 389, 399, 419, 428. 刊行: 『パリの手記』全一卷, 日記, 河出書房新社
6月
492. 『リリー・マルレーンへの旅』(原題「人間の生き方のより広い可能性・鈴木明『リリー・マルレーンを聴いたことがありますか』」) 波【収録誌】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974~1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)
7月

493. 『朔太郎を読んだ頃—大塚春長の思い出とともに—』 ユリイカ
494. 『七月の賛歌』(原題「私と7月」) 毎日ライフ【収録誌】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集 1974~1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)
495. 『先生の胡桃の木』文學界【収録誌】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974~1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)
496. 『風雪』—赤い場所からの挿話・Ⅶ, —ある生涯の七つの場所・14—, 海【収録誌1】『夏の海の色—ある生涯の七つの場所2』中央公論社, 1977年1月20日(昭和52)【収録誌2】『霧の聖マリ』中公文庫, 1992年2月10日(平成4)
- 7月5日
497. 『小説の魅惑と主題性』読売新聞【収録誌1】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974~1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)【収録誌2】『時の果実』朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)
- 7月14日
498. 『カルタゴの白い石—北アフリカへの旅—』朝日新聞 夕刊【収録誌1】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974~1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)【収録誌2】『地中海幻想の旅から』レグルス文庫, 1990年5月30日(平成2)
- 8月
499. 『泉』—黄い場所からの挿話・Ⅷ, —ある生涯の七つの場所・15—, 海【収録誌1】『夏の海の色—ある生涯の七つの場所2』中央公論社, 1977年1月20日(昭和52)【収録誌2】『夏の海の色』中公文庫, 1992年4月10日(平成4)
500. 『<真屋の海への旅>をめぐって』対談(清水徹) 青春と読書
- 8月1日
262. 刊行:『高瀬川』(限定版) 鶴声居
- 8月10日
443. 刊行:『真屋の海への旅』集英社
- 8月16日
501. 『<風景を見る> ことについて』木村茂銅版画集『軽井沢』, 現代版画センター
- 8月20日
443. 刊行:『真屋の海への旅』(愛蔵版) 集英社
- 9月
502. 『<真屋の海への旅>の周辺—わが編集者への回想—』すばる 第21号【収録誌】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974~1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)
- 10月30日
200. 刊行:『サラマンカの手帖から』新潮文庫
- 11月30日
107. 刊行:『背教者ユリアヌス』(限定版) 中央公論社
- 12月
503. 『アドリアンの言葉』N響定期公演プログラム【収録誌】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集 1974~1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)
504. 『河口風景』—赤い場所からの挿話・Ⅷ—ある生涯の七つの場所・16—, 海【収録誌1】『夏の海の色—ある生涯の七つの場所2』中央公論社, 1977年1月20日(昭和52)【収録誌2】『夏の海の色』中公文庫, 1992年4月10日(平成4)
505. 『書架の前の断章・5』(原題「恰好の伴侶」) 河出書房新社『紀行全集・世界体験』推薦文【収録誌】『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974~1975, 新潮社, 1979年10月30日(昭和54)

1976年1月(昭和51)

506. 『新しい小説への道』(原題「シモン『盲いたるオリオン』」) 波【収録誌】『風塵の街から』辻邦生第五エッセー集1976~1977, 新潮社, 1981年4月5日(昭和56)

507. 『「鳥獣戯画」との出会い』角川書店『新修日本絵巻物全集第4巻』月報【収録誌】『風塵の街から』辻邦生第五エッセー集1976~1977, 新潮社, 1981年4月5日(昭和56)

508. 『時の終りへの旅—夏の旅のノートから—』日記, 文芸展望 第12号【収録誌】『時の終りへの旅』筑摩書房, 1977年8月31日(昭和52)【収録誌2】『フランスわが旅』中央公論社, 1977年10月30日(昭和52)

509. 『花の広場にて』図書【収録誌】『風塵の街から』辻邦生第五エッセー集1976~1977, 新潮社, 1981年4月5日(昭和56)

510. 『夜の歩み』—黄いろい場所からの挿話・Ⅸ, 一ある生涯の七つの場所・17—, 海【収録誌1】『夏の海の色—ある生涯の七つの場所2』中央公論社, 1977年1月20日(昭和52)【収録誌2】『夏の海の色』中公文庫, 1992年4月10日(平成4)

1月8日

511. 『廃墟の教えるもの』サンケイ新聞 夕刊【収録誌1】『風塵の街から』辻邦生第五エッセー集1976~1977, 新潮社, 1981年4月5日(昭和56)【収録誌2】『地中海幻想の旅から』レグルス文庫, 1990年5月30日(平成2)

1月14日

512. 『キーツの家で』毎日新聞 夕刊【収録誌1】『風塵の街から』辻邦生第五エッセー集1976~1977, 新潮社, 1981年4月5日(昭和56)【収録誌2】『時の果実』朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)

2月

513. 『夏の海の色』—赤い場所からの挿話・Ⅸ, 一ある生涯の七つの場所・18—, 海【収録誌1】『夏の海の色—ある生涯の七つの場所2』中央公論社, 1977年1月20日(昭和52)【収録誌2】『昭和文学全集』辻邦生 小川国夫 加賀乙彦 高橋和巳 倉橋 由美子 田久保英夫 黒井千次 第20巻, 小学館, 1987年4月1日(昭和62)【収録誌3】『夏の海の色』中公文庫, 1992年4月10日(平成4)

2月25日

514. 『時の扉』毎日新聞(→1977年2月26日)【収録誌1】『時の扉』毎日新聞社, 1977年11月5日(昭和52)【収録誌2】『時の扉』限定版(820部)毎日新聞社, 1977年11月20日(昭和52)【収録誌3】『時の扉』文春文庫, 1986年3月25日(昭和61)

3月

515. 『映画〈北の岬〉の周辺』文藝【収録誌】『風塵の街から』辻邦生第五エッセー集1976~1977, 新潮社, 1981年4月5日(昭和56)

516. 『凍った日々』—黄いろい場所からの挿話・Ⅹ, 一ある生涯の七つの場所・19—, 海【収録誌1】『夏の海の色—ある生涯の七つの場所2』中央公論社, 1977年1月20日(昭和52)【収録誌2】『夏の海の色』中公文庫, 1992年4月10日(平成4)

517. 『炎の形〈背教者ユリアヌス〉の装幀について』スペース・デザイン

3月25日

79. 刊行:『小説への序章』河出文芸選書

4月

518. 『時の終りへの旅—夏の旅のノートから—下』日記, 文芸展望 第13号【収録誌1】『時の終りへの旅』筑摩書房, 1977年8月31日(昭和52)【収録誌2】『フランスわが旅』中央公論社, 1977年10月30日(昭和52)

519. 『水の上の顔』—赤い場所からの挿話・Ⅹ, 一ある生涯の七つの場所・20—, 海【収録誌1】『夏の

海の色—ある生涯の七つの場所 2』中央公論社, 1977年1月20日(昭和52)【収録誌 2】『夏の海の色』中公文庫, 1992年4月10日(平成4)

5月

520. 『北の森から』対談(長谷川泉) 古典と現代 第37号

6月

521. 『季節について』青春と読書【収録誌】『風塵の街から』辻邦生第五エッセー集1976~1977『新潮社, 1981年4月5日(昭和56)

522. 『旅立ちの前に』ボン・ボワヤージ【収録誌 1】『風塵の街から』辻邦生第五エッセー集1976~1977, 新潮社, 1981年4月5日(昭和56)【収録誌 2】『地中海幻想の旅から』レグルス文庫, 1990年5月30日(平成2)

523. 『古い日時計』—黄いろい場所からの挿話・Ⅺ, —ある生涯の七つの場所・21—, 海【収録誌 1】『夏の海の色—ある生涯の七つの場所 2』中央公論社, 1977年1月20日(昭和52)【収録誌 2】『夏の海の色』中公文庫, 1992年4月10日(平成4)

524. 井上靖『わが文学の軌跡』(聞き手)篠田一士・辻邦生, 海<現代作家の特別インタビュー>【収録誌 1】井上靖『わが文学の軌跡』中央公論社, 1977年4月25日(昭和52)【収録誌 2】『群像日本の作家・20 井上靖』小学館, 1991年3月10日(平成3)

7月

525. 『浅草時代』これくしょん【収録誌】『風塵の街から』辻邦生第五エッセー集1976~1977, 新潮社, 1981年4月5日(昭和56)

526. 『シリアの春』日記, 文芸展望 第14号【収録誌】『時の終りへの旅』筑摩書房, 1977年8月31日(昭和52)

527. 『パルテノン神殿フリーズ』婦人之友【収録誌】『風塵の街から』辻邦生第五エッセー集1976~1977, 新潮社, 1981年4月5日(昭和56)

528. 『祭の果て』—赤い場所からの挿話・Ⅺ, —ある生涯の七つの場所・22—, 海【収録誌 1】『夏の海の色—ある生涯の七つの場所 2』中央公論社, 1977年1月20日(昭和52)【収録誌 2】『夏の海の色』中公文庫, 1992年4月10日(平成4)

529. 『明晰さについて』文學界【収録誌】『風塵の街から』辻邦生第五エッセー集1976~1977, 新潮社, 1981年4月5日(昭和56)

7月1日

530. 『すべて本物が生きている街—パリの魅力を探る—』対談(磯村尚徳) 週刊朝日 増刊号

7月30日

76. 117. 刊行:『天草の雅歌』新潮文庫

8月

531. 『創造力の再発見』対談(武満徹)波【収録誌】『武満徹対談集 音楽の庭』新潮社, 1981年8月15日(昭和56)

8月20日

532. 刊行:『秋の朝 光のなかで』筑摩書房

533. 『あとがき—<秋の朝 光のなかで>』『秋の朝 光のなかで』筑摩書房

8月23日

534. 『みなと紀行—平戸』朝日新聞 夕刊【収録誌 1】『みなと紀行』朝日新聞社, 1976年11月30日(昭和51)【収録誌 2】『みなと紀行』朝日選書, 1981年2月20日(昭和56)【収録誌 3】『風塵の街から』辻邦生第五エッセー集1976~1977, 新潮社, 1981年4月5日(昭和56)

9月

535. 『海峡』—黄いろい場所からの挿話・Ⅻ, —ある生涯の七つの場所・23—, 海【収録誌1】『夏の海の色—ある生涯の七つの場所2』中央公論社, 1977年1月20日(昭和52)【収録誌2】『夏の海の色』中公文庫, 1992年4月10日(平成4)
536. 『南の遙かな青い海』ボン・ボワヤージ【収録誌1】『風塵の街から』辻邦生第五エッセー集1976~1977, 新潮社, 1981年4月5日(昭和56)【収録誌2】『地中海幻想の旅から』レグルス文庫, 1990年5月30日(平成2)
- 10月
537. 『彩られた雲』—赤い場所からの挿話・Ⅻ, —ある生涯の七つの場所・24—, 海【収録誌1】『夏の海の色—ある生涯の七つの場所2』中央公論社, 1977年1月20日(昭和52)【収録誌2】『夏の海の色』中公文庫, 1992年4月10日(平成4)
- 10月20日
538. 『あとがき—霧の廃墟から』『霧の廃墟から』新潮社
539. 刊行:『霧の廃墟から』辻邦生第三エッセー集1972~1973, 新潮社
- 10月22日
540. 『回想の森有正先生』朝日新聞 夕刊【収録誌】『風塵の街から』辻邦生第五エッセー集1976~1977, 新潮社, 1981年4月5日(昭和56)
- 11月
541. 『書くことと読むこと』学習院輔仁会雑誌【収録誌】『風塵の街から』辻邦生第五エッセー集1976~1977, 新潮社, 1981年4月5日(昭和56)
542. 『友をもつこと』『北杜夫全集第11巻』月報, 新潮社【収録誌1】『風塵の街から』辻邦生第五エッセー集1976~1977, 新潮社, 1981年4月5日(昭和56)【収録誌2】『地中海幻想の旅から』レグルス文庫, 1990年5月30日(平成2)
- 12月
543. 『ある生涯の軌跡—森有正氏の思索と方法—』思想 第603号【収録誌1】『森有正 感覚のめざすもの』筑摩書房, 1980年12月10日(昭和55)【収録誌2】『風塵の街から』辻邦生第五エッセー集1976~1977, 新潮社, 1981年4月5日(昭和56)
544. 『遺影の前で』海 武田泰淳追悼号【収録誌】『風塵の街から』辻邦生第五エッセー集1976~1977, 新潮社, 1981年4月5日(昭和56)
545. 『先生との出会い』(原題「森先生との出会い」)展望【収録誌1】『森有正 感覚のめざすもの』筑摩書房, 1980年12月10日(昭和55)【収録誌2】『風塵の街から』辻邦生第五エッセー集1976~1977, 新潮社, 1981年4月5日(昭和56)【収録誌3】『時の果实』朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)【収録誌4】高田好胤編『日本の名随筆 71 恩』作品社, 1988年9月25日(昭和63)
546. 『武田さんのこと』すばる 武田泰淳追悼特集【収録誌1】『風塵の街から』辻邦生第五エッセー集1976~1977, 新潮社, 1981年4月5日(昭和56)【収録誌2】『時の果实』朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)
547. 『旅立ちのころ』ボン・ボワヤージ【収録誌】『風塵の街から』辻邦生第五エッセー集1976~1977, 新潮社, 1981年4月5日(昭和56)
- 12月15日
64. 刊行:『夏の砦』河出文芸選書
- 12月22日
548. 『最後の旅から』(原題「著者あとがきにかえて」)森有正『遠ざかるノートルダム』筑摩書房 あとがき【収録誌】『森有正 感覚のめざすもの』筑摩書房, 1980年12月10日(昭和55)
- 1977年1月(昭和52)

549. 『神々の青い海』 文芸展望 第16号【収録誌1】『時の終りへの旅』 筑摩書房, 1977年8月31日(昭和52)【収録誌2】『時の果実』 朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)
550. 『吹雪』 一黄いろい場所からの挿話・Ⅷ, 一ある生涯の七つの場所・25一, 海【収録誌1】『雷鳴の聞える午後一ある生涯の七つの場所3』 中央公論社, 1979年4月10日(昭和54)【収録誌2】『夏の海の色』 中公文庫, 1992年4月10日(平成4)
551. 『森先生の笑い』 新潮【収録誌1】『森有正 感覚のめざすもの』 摩筑書房, 1980年12月10日(昭和55)【収録誌2】『風塵の街から』 辻邦生第第エッセー集1976~1977, 新潮社, 1981年4月5日(昭和56)
- 1月20日
513. 刊行:『夏の海の色一ある生涯の七つの場所2』 短篇小説集, 中央公論社
- 1月28日
552. 『作家における存在と無(1)一詩の目覚める場所一』 講演, 新潮文化講演 紀伊國屋ホールにて
- 2月
553. 『中国の旅から』 日中文化交流【収録誌1】『風塵の街から』 辻邦生第五エッセー集1976~1977, 新潮社, 1981年4月5日(昭和56)【収録誌2】『地中海幻想の旅から』 レグルス文庫, 1990年5月30日(平成2)
554. 『月の舞い』 一赤い場所からの挿話・Ⅷ, 一ある生涯の七つの場所・26一, 海【収録誌1】『雷鳴の聞える午後一ある生涯の七つの場所3』 中央公論社, 1979年4月10日(昭和54)【収録誌2】『夏の海の色』 中公文庫, 1992年4月10日(平成4)
134. 刊行:『円形劇場から』(限定版) 吾八ぶれす
- 2月18日
555. 『作家における存在と無(2)一シベリアへの告別・ドストエフスキーの場合一』 講演, 新潮文化講演 紀伊國屋ホールにて
- 3月
556. 『芥川龍之介から受けたもの』 ユリイカ【収録誌1】『風塵の街から』 辻邦生第五エッセー集1976~1977, 新潮社, 1981年4月5日(昭和56)【収録誌2】『新文芸読本 <芥川龍之介>』 河出書房新社, 1990年7月31日(平成2)
557. 『大岡昇平とスタンダール』 国文学 解釈と教材の研究【収録誌】『風塵の街から』 辻邦生第五エッセー集1976~1977, 新潮社, 1981年4月5日(昭和56)
558. 『ル・アーヴル 午後五時三十分』 一黄いろい場所からの挿話・Ⅷ, 短篇小説一ある生涯の七つの場所・27一, 海【収録誌1】『雷鳴の聞える午後一ある生涯の七つの場所3』 中央公論社, 1979年4月10日(昭和54)【収録誌2】『夏の海の色』 中公文庫, 1992年4月10日(平成4)
- 3月3日
559. 『<時の扉>を書き終えて』 毎日新聞 夕刊【収録誌1】『風塵の街から』 辻邦生第五エッセー集1976~1977, 新潮社, 1981年4月5日(昭和56)【収録誌2】『時の果実』 朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)
- 3月18日
560. 『作家における存在と無(3)一パリをこえるもの・リルケの場合一』 新潮文化講演 紀伊國屋ホールにて
- 3月24日
561. 『明恵上人像』 朝日新聞 夕刊 <日本の山水画展から3>【収録誌】『風塵の街から』 辻邦生第五エッセー集1976~1977, 新潮社, 1981年4月5日(昭和56)
- 4月

562. 『文学とテキストの間』推薦文、『堀辰雄全集』内容見本、筑摩書房【収録誌1】『堀辰雄全集 別巻2 堀辰雄研究』筑摩書房、1980年10月25日（昭和55）【収録誌2】『永遠の書架にたちて』新潮社、1990年7月25日（平成2）
563. 『雷鳴の聞える午後』一赤い場所からの挿話・Ⅳ、一ある生涯の七つの場所・28一、海【収録誌1】『雷鳴の聞える午後一ある生涯の七つの場所3』中央公論社、1979年4月10日（昭和54）【収録誌2】『夏の海の色』中公文庫、1992年4月10日（平成4）
- 4月15日
564. 『作家における存在と無(4)一時と永遠をめぐる・プルーストの場合』新潮文化講演 紀伊國屋ホールにて
- 5月
565. 『情緒論の試み』思想 第635～647号（→1987年5月まで十回の掲載）
566. 『ドーヴァの眺め』一緑いろの場所からの挿話・I、一ある生涯の七つの場所・29一、海【収録誌1】『雷鳴の聞える午後一ある生涯の七つの場所3』中央公論社、1979年4月10日（昭和54）【収録誌2】『雪崩のくる日』中公文庫、1992年6月10日（平成4）
567. 『激しく美しく減じた歴史一長篇小説〈春の戴冠〉をめぐる一』対談（高階秀爾）波
568. 『パリー夢と実現』藝術新潮【収録誌1】『風塵の街から』辻邦生第五エッセー集1976～1977、新潮社、1981年4月5日（昭和56）【収録誌2】『地中海幻想の旅から』レグルス文庫、1990年5月30日（平成2）
569. 『フーズムまで』文藝【収録誌】『風塵の街から』辻邦生第五エッセー集1976～1977、新潮社、1981年4月5日（昭和56）
- 5月10日
570. 『作家における存在と無(5)一花鳥風月のさなか・芭蕉の場合』新潮文化講演 紀伊國屋ホールにて
- 5月13日
571. 『ルノー・バロー劇団の〈ハロルドとモード〉を見て』毎日新聞 夕刊【収録誌1】『風塵の街から』辻邦生第五エッセー集1976～1977、新潮社、1981年4月5日（昭和56）【収録誌2】『時の果実』朝日新聞社、1984年6月25日（昭和59）
- 5月19日
572. 『パウラ・マウラヤ夫妻像』東京新聞 夕刊〈古代ギリシア展から2〉【収録誌】『風塵の街から』辻邦生第五エッセー集1976～1977、新潮社、1981年4月5日（昭和56）
- 5月25日
204. 刊行：『春の戴冠』（上）（下）二冊、新潮社
- 6月
573. 『夏への賛歌』オッターマガジン Vol.5【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社、1991年5月20日（平成3）
- 6月17日
574. 『作家における存在と無(6)一夢幻からの旅・夢幻への旅・シェイクスピアの場合』新潮文化講演 紀伊國屋ホールにて
- 6月20日
575. 『北の海辺の旅』週刊朝日【収録誌1】『風塵の街から』辻邦生第五エッセー集1976～1977、新潮社、1981年4月5日（昭和56）【収録誌2】『地中海幻想の旅から』レグルス文庫、1990年5月30日（平成2）
- 7月20日

576. 『経験を思索する道』(原題「解題」) 森有正『経験と思想』岩波書店【収録誌】『森有正 感覚のめざすもの』筑摩書房, 1980年12月10日(昭和55)
7月30日
67. 刊行:『見知らぬ町にて』新潮文庫
8月
577. 『夜の鐘』一橙いろの場所からの挿話・I, 一ある生涯の七つの場所・30一, 海【収録誌1】『雷鳴の聞える午後一ある生涯の七つの場所3』中央公論社, 1979年4月10日(昭和54)【収録誌2】『雪崩のくる日』中公文庫, 1992年6月10日(平成4)
8月15日
103. 刊行:『城・夜』短篇集, 河出文芸選書
8月31日
578. 『あとがき—<時の終りへの旅>』『時の終りへの旅』筑摩書房
579. 『ある旅の終り ある旅の始まり』日記, 『時の終りへの旅』筑摩書房
580. 刊行:『時の終りへの旅』紀行集, 筑摩書房
9月
581. 『空の旅 雲の旅』ボン・ボワヤージ【収録誌】『風塵の街から』辻邦生第五エッセー集1976~1977, 新潮社, 1981年4月5日(昭和56)
582. 『中島敦を読んだ頃』ユリイカ【収録誌】『風塵の街から』辻邦生第五エッセー集1976~1977, 新潮社, 1981年4月5日(昭和56)
583. 『麦畑を越えて』一緑いろの場所からの挿話・II, 一ある生涯の七つの場所・31一, 海【収録誌1】『雷鳴の聞える午後一ある生涯の七つの場所3』中央公論社, 1979年4月10日(昭和54)【収録誌2】『雪崩のくる日』中公文庫, 1992年6月10日(平成4)
10月
584. 『高原の町から』一橙いろの場所からの挿話・I, 一ある生涯の七つの場所・32一, 海【収録誌1】『雷鳴の聞える午後一ある生涯の七つの場所3』中央公論社, 1979年4月10日(昭和54)【収録誌2】『雪崩のくる日』中公文庫, 1992年6月10日(平成4)
585. 『西欧の死と再生』『ローラ・ローラ』推薦文, 筑摩書房【収録誌】『風塵の街から』辻邦生第五エッセー集1976~1977, 新潮社, 1981年4月5日(昭和56)
586. 『吉田さんとの別れ』すばる 吉田健一追悼号【収録誌1】『風塵の街から』辻邦生第五エッセー集1976~1977, 新潮社, 1981年4月5日(昭和56)【収録誌2】『時の果実』朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)
587. 『ロシアの旅から2』藝術新潮【収録誌1】『風塵の街から』辻邦生第五エッセー集1976~1977, 新潮社, 1981年4月5日(昭和56)【収録誌2】『地中海幻想の旅から』レグルス文庫, 1990年5月30日(平成2)
10月21日
588. 『ピカソの軌跡』(原題「論理的な噴出」) 読売新聞 夕刊【収録誌】『風塵の街から』辻邦生第五エッセー集1976~1977, 新潮社, 1981年4月5日(昭和56)
10月27日
589. 『井上靖文学における「詩」と「人生」—「流砂」新連載を前に—』毎日新聞 夕刊【収録誌】『風塵の街から』辻邦生第五エッセー集1976~1977, 新潮社, 1981年4月5日(昭和56)
10月30日
590. 『あとがき—<フランスわが旅>』『フランスわが旅』中央公論社
591. 『旅のはじまり そして友人たち』辻邦生編集『フランスわが旅』中央公論社

592. 刊行：辻邦生編集『フランスわが旅』紀行文集，中央公論社
11月
593. 『小説と現実』図書【収録誌】『風塵の街から』辻邦生第五エッセー集1976～1977，新潮社，1981年4月5日（昭和56）
594. 『野の道』一緑いろの場所からの挿話・Ⅲ，一ある生涯の七つの場所・33一，海【収録誌1】『雷鳴の聞える午後一ある生涯の七つの場所3』中央公論社，1979年4月10日（昭和54）【収録誌2】『雪崩のくる日』中公文庫，1992年6月10日（平成4）
11月5日
514. 刊行：『時の扉』毎日新聞社
11月20日
514. 刊行：『時の扉』（限定版）毎日新聞社
12月
595. 『北風のなかの火見櫓』一橙いろの場所からの挿話・Ⅲ，一ある生涯の七つの場所・34一，海【収録誌1】『雷鳴の聞える午後一ある生涯の七つの場所3』中央公論社，1979年4月10日（昭和54）【収録誌2】『雪崩のくる日』中公文庫，1992年6月10日（平成4）
596. 『吉田健一のためのレクイエム』ユリイカ〈吉田健一特集〉
12月19日
597. 『丸谷オー〈文章読本〉の意味』（原題「きちんと書くこと 丸谷オー〈文章読本〉の意味」朝日新聞【収録誌】『風塵の街から』辻邦生第五エッセー集1976～1977，新潮社，1981年4月5日（昭和56）1978年1月（昭和53）
598. 『音楽とその周辺を語る』（改題「音楽とその周辺」）対談（ドナルド・キーン）レコード芸術〈新春特別対談〉【収録誌】ドナルド・キーン対談集『日本の魅力』中央公論社，1979年3月20日（昭和54）
599. 『黒い石だたみ』一緑いろの場所からの挿話・Ⅳ，一ある生涯の七つの場所・35一，海【収録誌1】『雷鳴の聞える午後一ある生涯の七つの場所3』中央公論社，1979年4月10日（昭和54）【収録誌2】『雪崩のくる日』中公文庫，1992年6月10日（平成4）
600. 『先生とプラトンと索引と』（原題「プラトン索引の周囲」）『プラトン全集別巻』月報，岩波書店【収録誌1】『森有正 感覚のめざすもの』筑摩書房，1980年12月10日（昭和55）【収録誌2】『永遠の書架にたちて』新潮社，1990年7月25日（平成2）
601. 『ピエロと三角帽子』連作ファルス「天使の鼓笛隊」1，文藝【収録誌】『天使の鼓笛隊』筑摩書房，1992年6月25日（平成4）
602. 『フーシェ革命暦』第一部（→1980年10月号，34回連載），文學界【収録誌】『フーシェ革命暦』1，文藝春秋，1989年7月25日（平成1）
1月1日
603. 『初日影のなかで』（原題「初日影ひとり静かに」）読売新聞【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社，1991年5月20日（平成3）
1月10日
448. 刊行：『灰色の石に坐りて』中公文庫
2月
604. 『山峡へ』一橙いろの場所からの挿話・Ⅳ，一ある生涯の七つの場所・36一，海【収録誌1】『雷鳴の聞える午後一ある生涯の七つの場所3』中央公論社，1979年4月10日（昭和54）【収録誌2】『雪崩のくる日』中公文庫，1992年6月10日（平成4）
605. 『文学的青春のデルポイ神殿』『筑摩現代文学体系第74巻』月報，筑摩書房【収録誌】『永遠の書架

- にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)
606. 『幼年期の自画像』(原題「幼児期の自画像」)菅野昭正編集『作家の世界 辻邦生』番町書房【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991年5月20日(平成3)
607. 『ある壊滅』一緑いろの場所からの挿話・V, 一ある生涯の七つの場所・37一, 海【収録誌1】『雪崩のくる日—ある生涯の七つの場所4』中央公論社, 1980年5月10日(昭和55)【収録誌2】『雪崩のくる日』中公文庫, 1992年6月10日(平成4)
608. 『「家」と「くつろぎ」と』推薦文『森有正全集』内容見本, 筑摩書房【収録誌1】『森有正 感覚のめざすもの』筑摩書房, 1980年12月10日(昭和55)【収録誌2】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)
609. 『芸術と現実の間』世界—論壇—
610. 『大航海時代への夢』(原題「『大航海時代』と私」)『大航海時代叢書』推薦文, 岩波書店【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)
611. 『バッハのなかに響くもの1』(原題「音楽の大伽藍を仰いで」)『バッハ全集』, 筑摩書房【収録誌1】『森有正 感覚のめざすもの』筑摩書房, 1980年12月10日(昭和55)【収録誌2】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日(平成5)
612. 『塚谷雄高における〈憂愁〉』ユリイカ【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)
613. 『「春の戴冠」をめぐって』CRONACA, 日伊協会会報第21号【収録誌1】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)【収録誌2】『辻邦生歴史小説集成第十二巻・歴史小説論・歴史小説創作ノート』岩波書店, 1993年10月21日(平成5)
- 3月6日
614. 『夢と現実—ブレッソンの白夜を見て—』毎日新聞 夕刊
4月
615. 『宇野さんと〈変貌〉』『宇野千代全集第十巻』月報, 中央公論社【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)
616. 『官能の「百科事典」—純文学書下ろし特別作品〈夏〉をめぐって』対談(中村真一郎), 波【収録誌】『幻想と世界』〈中村真一郎対話集・4〉国書刊行会, 1985年10月10日(昭和60)
617. 『夜の河の流れるとき』連作ファルス「天使の鼓笛隊」2, 文芸【収録誌】『天使の鼓笛隊』筑摩書房, 1992年6月25日(平成4)
618. 『ロシア幻想の旅から(←)』, 文芸展望 第21号【収録誌】『遙かなる旅への追想』新潮社, 1992年4月20日(平成4)
- 4月30日
619. 『小説のなかの映画』『東和の半世紀』東宝東和株式会社
5月
620. 『「変化」と「さむがりやのサンタ」を結ぶもの』(原題「『変化』と『さむがりやのサンタ』」)新潮読書【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)
- 5月12日
621. 『果てしなく生の哀歓を語る絵画』朝日ジャーナル〈「レーピン名作展」を見て〉
5月24日
622. 『もう一つの夢としてのプラハ』『紀行全集 世界体験 第4巻北欧・東欧』河出書房新社【収録誌】『遙かなる旅への追想』新潮社, 1992年4月20日(平成4)
- 6月
623. 『ギリシアその神話と風景』対談(粟津則雄)ユリイカ 臨時増刊 ギリシア

624. 『吉田健一のみざしたもの』推薦文、『吉田健一全集』内容見本，集英社【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社，1990年7月25日（平成2）
- 7月
625. 『信州の高原にて』（原題「一九七八年夏 信州の高原にて」）オッターマガジン VOL.6【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社，1991年5月20日（平成3）
626. 『筑摩書房と出会った頃』（原題「筑摩書房との出会い」）推薦文、『筑摩書房個人全集』内容見本【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社，1990年7月25日（平成2）
627. 『ヨーロッパ昨今』対談（渡辺一民）立教，No.86
628. 『ロシア幻想の旅から(二)』紀行文，文芸展望 第22号
629. 『われもまたアルカディアに』信州の旅【収録誌1】『わが旅わが信州』信州の旅社，1980年5月15日（昭和55）【収録誌2】『時刻のなかの肖像』新潮社，1991年5月20日（平成3）
- 8月
630. 『秋の別れ』一澄いろの場所からの挿話・V，一ある生涯の七つの場所・38一，海【収録誌1】『雪崩のくる日一ある生涯の七つの場所4』中央公論社，1980年5月10日（昭和55）【収録誌2】『雪崩のくる日』中公文庫，1992年6月10日（平成4）
- 9月
631. 『郷愁への旅 郷愁からの旅—清岡卓之〈芸術的な握手〉—』文學界【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社，1990年7月25日（平成2）
632. 『実在する言葉の祀り』素顔 第4号〈特集『子午線の祀り』〉【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社，1990年7月25日（平成2）
633. 『青春と文学』鼎談（北杜夫と堤清二），あるとき 第5号
634. 『〈遠い園生〉を書いた頃』『われらの青春ここにありき』松本高等学校同窓会
635. 『夜明け前の庭』一緑いろの場所からの挿話・VI，一ある生涯の七つの場所・39一，海【収録誌1】『雪崩のくる日一ある生涯の七つの場所4』中央公論社，1980年5月10日（昭和55）【収録誌2】『雪崩のくる日』中公文庫，1992年6月10日（平成4）
- 10月
633. 『青春と文学』（続）鼎談（北杜夫と堤清二），あるとき 第6号
636. 『隊商都市の回想』波【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社，1990年7月25日（平成2）
637. 『雪崩のくる日』一澄いろの場所からの挿話・VI，一ある生涯の七つの場所・40一，海【収録誌1】『雪崩のくる日一ある生涯の七つの場所4』中央公論社，1980年5月10日（昭和55）【収録誌2】『第三期長野県文学全集4〈現代作家編〉』郷土出版社，1990年11月14日（平成2）【収録誌3】『雪崩のくる日』中公文庫，1992年6月10日（平成4）
638. 『朗読の周囲』（原題「幸田さんの朗読を聞きながら」）一葉のゆうべパンフレット二【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社，1990年7月25日（平成2）
- 10月5日
639. 『あとがき—〈辻邦生全短篇〉』『辻邦生全短篇』中央公論社
640. 刊行：『辻邦生全短篇』二冊一卷セット，中央公論社
- 10月19日
641. 『現代文学の流れの中で』（原題「日本の近代文学の流れの中で」），ヌーヴェール・リテレル【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社，1990年7月25日（平成2）
- 11月
642. 『教授たちの夜』一緑いろの場所からの挿話・VII，一ある生涯の七つの場所・41一，海【収録誌1】『雪崩のくる日一ある生涯の七つの場所4』中央公論社，1980年5月10日（昭和55）【収録誌2】『雪崩

のくる日』中公文庫, 1992年6月10日(平成4)

11月3日

643. 『樹の声 海の声』第一部(→1979年11月2日号, 51回連載), 朝日ジャーナル【収録誌1】『樹の声 海の声』(上), 朝日新聞社, 1982年4月20日(昭和57)【収録誌2】『樹の声 海の声』限定版, 朝日新聞社, 1983年4月15日(昭和58)【収録誌3】『樹の声 海の声』朝日文庫〈1~6〉, 1985年8月20日(昭和60)

1979年1月(昭和54)

644. 『花たちへの謝辞—植物と私—』趣味の園芸【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991年5月20日(平成3)

645. 『落日のなかで』(原題「落日のなかの都会」)一橙いろの場所からの挿話・Ⅶ, 一ある生涯の七つの場所・42一, 海【収録誌1】『雪崩のくる日—ある生涯の七つの場所4』中央公論社, 1980年5月10日(昭和55)【収録誌2】『雪崩のくる日』中公文庫, 1992年6月10日(平成4)

646. 『月のなかの女』文藝 合併号【収録誌】『天使の鼓笛隊』筑摩書房, 1992年6月25日(平成4)

647. 『パリの秋 日本の秋』新潮【収録誌1】『森有正 感覚のめざすもの』筑摩書房, 1980年12月10日(昭和55)【収録誌2】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991年5月20日(平成3)

648. 『人形(プッペン)クリニック』一緑いろの場所からの挿話・Ⅷ, 一ある生涯の七つの場所・43一, 海【収録誌1】『雪崩のくる日—ある生涯の七つの場所4』中央公論社, 1980年5月10日(昭和55)【収録誌2】『昭和文学全集 辻邦生 小川国夫 加賀乙彦 高橋和巳 倉橋由美子 田久保英夫 黒井千次』第20巻, 小学館, 1987年4月1日(昭和62)【収録誌3】『人形クリニック』中公文庫, 1992年8月10日(平成4)

2月

649. 『もう一つのポッティチェルリの顔』推薦文, 『ポッティチェルリ ダンテ神曲素描』内容見本, 講談社

2月1日

650. 『ポーランドの旅から』朝日新聞 夕刊【収録誌】『遙かなる旅への追想』新潮社, 1992年4月20日(平成4)

3月

651. 『聖路加病院まで』一橙いろの場所からの挿話・Ⅶ, 一ある生涯の七つの場所・44一, 海【収録誌1】『雪崩のくる日—ある生涯の七つの場所4』中央公論社, 1980年5月10日(昭和55)【収録誌2】『人形クリニック』中公文庫, 1992年8月10日(平成4)

652. 『芭蕉へ誘うもの』(原題「心湧いて水到る」)推薦文, 『穎退蔵著作集』内容見本, 中央公論社【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)

3月10日

79. 刊行: 『小説への序章』中公文庫

3月27日

653. 『イノセント』朝日新聞 広告(映画推薦文)夕刊

4月

654. 『<木靴の樹>のまなざし』上映パンフ, 岩波ホール

655. 『啓示としてのプルースト』(原題「啓示としての Proust」)ふらんす〈一冊の本〉【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)

656. 『青春のとき』対談(小塩節) 国文学解釈と教材の研究〈特集: 青春の発見〉學燈社

657. 『西洋から解かれる日』(原題「時代のなかで」)あるとき【収録誌】『遙かなる旅への追想』新潮社, 1992年4月20日(平成4)

658. 『森の歌』一緑いろの場所からの挿話・Ⅸ, 一ある生涯の七つの場所・45一, 海【収録誌1】『雪

- 崩のくる日—ある生涯の七つの場所 4』中央公論社，1980年5月10日（昭和55）【収録誌 2】『人形クリニック』中公文庫，1992年8月10日（平成4）
659. 『歴史小説を書く姿勢』史友 第11号〈歴史とフィクションの間〉【収録誌】『遙かなる旅への追想』新潮社，1992年4月20日（平成4）
4月10日
660. 『あとがき—〈雷鳴の聞える午後〉』『雷鳴の聞える午後』中央公論社
563. 刊行：『雷鳴の聞える午後』短篇小説集，中央公論社
4月25日
435. 刊行：『モンマルトル日記』集英社文庫
4月30日
661. 『小説空間の拡がり求めて—雷鳴の聞こえる午後—』週刊読書人【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社，1990年7月25日（平成2）
662. 『わが3人の友』（原題「わが友・繭山康彦—骨董への夢想と陶酔」）日本読書新聞【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社，1991年5月20日（平成3）
- 5月
663. 『城の秋』—橙いろの場所からの挿話・Ⅸ，—ある生涯の七つの場所・46—，海【収録誌 1】『雪崩のくる日—ある生涯の七つの場所 4』中央公論社，1980年5月10日（昭和55）【収録誌 2】『人形クリニック』中公文庫，1992年8月10日（平成4）
664. 『〈楽しみと冒険〉の時代』対談（丸谷才一），波
665. 『兵士の青春』すばる【収録誌】『もうひとつの夜へ』集英社，1983年10月10日（昭和58）
5月7日
666. 『わが3人の友』（原題「わが友・小泉淳作—一時流に迎合を拒否—」）日本読書新聞【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社，1991年5月20日（平成3）
5月14日
667. 『わが3人の友』（原題「わが友・宮脇愛子—燃えつづける何か—」）日本読書新聞【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社，1991年5月20日（平成3）
- 6月
668. 『いつの日か認識の果てに立ち……』波〈新潮文庫特集〉【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社，1990年7月25日（平成2）
669. 『「記録者たちの世界——大航海時代叢書」第二期の刊行にあたって』対談（増田義郎）図書
670. 『色彩の歌に寄せて』栗津杜子展案内状
671. 『妻への手紙』郵政【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社，1991年5月20日（平成3）
672. 『あなたのフランス料理』フランス国営放送編『あなたのフランス料理』帯，錬金社
673. 『マイヤーホーフの春秋』—緑いろの場所からの挿話・Ⅹ，—ある生涯の七つの場所・47—，海【収録誌 1】『雪崩のくる日—ある生涯の七つの場所 4』中央公論社，1980年5月10日（昭和55）【収録誌 2】『人形クリニック』中公文庫，1992年8月10日（平成4）
674. 『無題』旅の手帖〈近況報告〉
675. 『森のなかの生活』（原題「森のなかの生活から」）オッターマガジン Vol. 7【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社，1991年5月20日（平成3）
- 7月
676. 『青い葡萄』—橙いろの場所からの挿話・Ⅹ，—ある生涯の七つの場所・48—，海【収録誌 1】『雪崩のくる日—ある生涯の七つの場所 4』中央公論社，1980年5月10日（昭和55）【収録誌 2】『人形クリニック』中公文庫，1992年8月10日（平成4）

677. 『ある幻想空間への幻想—ラテン・アメリカ文学へのパロディ風オマージュ—』 ユリイカ 【収録誌1】『ラテンアメリカ文学を読む』〈ラテンアメリカ文学叢書14〉国書刊行会, 1980年5月30日(昭和55) 【収録誌2】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)
678. 『言葉と冒険と』(原題「自分でかいた推薦文」) 『楽しみと冒険』 【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)
679. 『授理について』 新潮
680. 『日記のなかの作家の顔』 『ジュリアン・グリーン全集』第6巻月報, 人文書院 【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)
681. 『壇谷さんの周辺で』 『壇谷雄高ドストエフスキイ全論集』付録, 講談社 【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)
- 7月29日
682. 『本との出会い』(原題「ひと, 本に会う—私の読書術—」) 朝日新聞 【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)
- 8月
683. 『コルヌアージュの恋人たち』—緑いろの場所からの挿話・Ⅺ, 一ある生涯の七つの場所・49—, 海 【収録誌1】『雨季の終り—ある生涯の七つの場所5』中央公論社, 1982年11月10日(昭和57) 【収録誌2】『人形クリニック』中公文庫, 1992年8月10日(平成4)
684. 『詩的経験としての〈永遠〉の構造』 思想 【収録誌】『詩と永遠』岩波書店, 1988年6月30日(昭和63)
685. 『迷信について』 言語生活 【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991年5月20日(平成3)
- 8月17日
686. 『福永武彦の〈生と死〉—子どもの無心と純真さを最期まで—』 読売新聞 夕刊 【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991年5月20日(平成3)
687. 『『岩波現代選書』を推す』 朝日新聞 広告
688. 『ギリシアの風 ギリシアの雪—映画「旅芸人の記録」の余白に—』 世界 【収録誌】『遙かなる旅への追想』新潮社, 1992年4月20日(平成4)
689. 『月曜日の記憶』—橙いろの場所からの挿話・Ⅺ, 一ある生涯の七つの場所・50—, 海 【収録誌1】『雨季の終り—ある生涯の七つの場所5』中央公論社, 1982年11月10日(昭和57) 【収録誌2】『人形クリニック』中公文庫, 1992年8月10日(平成4)
- 9月24日
690. 『ルノワール色彩の歌』 読売新聞
- 10月
691. 『海辺の城』—緑いろの場所からの挿話・Ⅺ, 一ある生涯の七つの場所・51—, 海 【収録誌1】『雨季の終り—ある生涯の七つの場所5』中央公論社, 1982年11月10日(昭和57) 【収録誌2】『人形クリニック』中公文庫, 1992年8月10日(平成4)
692. 『古代美術への誘い』 対談(磯崎新) 波
693. 『福永さんの思い出から』 新潮 〈福永武彦追悼号〉 【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991年5月20日(平成3)
694. 『〈六階の浮遊感〉の周囲』(原題「〈六階の浮遊感〉によせて」) 『望月義子歌集』しおり, 短歌新聞社 【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991年5月20日(平成3)
- 10月25日
443. 刊行: 『真晝の海への旅』 新潮文庫
- 10月30日

695. 『季節の宴—あとがきにかえて—』『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974～1975【収録誌】
辻邦生編『風と樹木と鳥の声』〈エッセーおとなの時間〉シリーズ，新潮社，1986年4月20日（昭和61）
696. 刊行：『季節の宴から』辻邦生第四エッセー集1974～1975，新潮社
11月
697. 『〈かなしみ〉の通過』（原題：無題）推薦文，佐々木美代子『インディアン・サマー』新潮社【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社，1990年7月25日（平成2）
698. 『言語の祝祭 祝祭の言語』海【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社，1990年7月25日（平成2）
699. 『薄明の時』—橙いろの場所からの挿話・Ⅷ，—ある生涯の七つの場所・52—，海【収録誌1】『雨季の終り—ある生涯の七つの場所5』中央公論社，1982年11月10日（昭和57）【収録誌2】『人形クリニック』中公文庫，1992年8月10日（平成4）
11月9日
700. 『樹の声 海の声 間奏曲1』（第1部と第2部との間に挿入された，作者から読者への手紙）朝日ジャーナル【収録誌1】『樹の声 海の声』（上）付録，朝日新聞社，1982年4月20日（昭和57）【収録誌2】『時の果実』朝日新聞社，1984年6月25日（昭和59）
11月13日
701. 『堅固な古典性と生き生きした現実感覚』毎日新聞〈名画の楽しみ2 ルーマニア国立美術館から〉
11月16日
643. 『樹の声 海の声』第二部（→1980年11月7日号，49回連載），朝日ジャーナル【収録誌1】『樹の声 海の声』（中），朝日新聞社，1982年5月20日（昭和57）【収録誌2】『樹の声 海の声』限定版，朝日新聞社，1983年4月15日（昭和58）【収録誌3】『樹の声 海の声』朝日文庫〈1～6〉，1985年10月20日（昭和60）
11月20日
702. 『索引（人生案内ふうな）—地図を夢見る』『地図を夢見る』新潮社
703. 刊行：辻邦生編『地図を夢見る』〈楽しみと冒険〉シリーズ1，紀行文，新潮社
704. 『夢見る力』辻邦生編『地図を夢見る』〈楽しみと冒険〉シリーズ1，新潮社
11月30日
705. 『孤高の行方』評伝，文人畫粹編16『青木木米』限定版，中央公論社【収録誌1】『橄欖の小枝』中央公論社，1980年11月30日（昭和55）【収録誌2】松永伍一他編『日本美を語る8』ぎょうせい，1989年9月1日（平成1）【収録誌3】吉田光邦他編『日本美を語る12』ぎょうせい，1990年2月20日（平成2）
12月
706. 『オルフェウスの娘たち』—緑いろの場所からの挿話・Ⅷ，—ある生涯の七つの場所・53—，海【収録誌1】『雨季の終り—ある生涯の七つの場所5』中央公論社，1982年11月10日（昭和57）【収録誌2】『人形クリニック』中公文庫，1992年8月10日（平成4）
707. 『詩心を鼓舞するもの』『井上靖全詩集』付録，新潮社【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社，1990年7月25日（平成2）
708. 『夜の影 人の影—ブラッサイの作品に寄せて』世界
12月23日
709. 『愛と苦悩のあいだ—映画「女の叫び」の余白に—』日本経済新聞
1980年1月（昭和55）
710. 『雲と Nicolas poussin と』すばる〈天人地〉【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社1993年10月25日（平成5）
711. 『夜の入口』—橙いろの場所からの挿話・Ⅷ，—ある生涯の七つの場所・54—，海【収録誌1】『雨

季の終り—ある生涯の七つの場所5』中央公論社，1982年11月10日（昭和57）【収録誌2】『人形クリニック』中公文庫，1992年8月10日（平成4）

2月

712. 『根源への旅』（原題「思索への旅 根源への旅」）新潮〈展望回顧〉【収録誌】『遙かなる旅への追想』新潮社，1992年4月20日（平成4）

713. 『地の果て』—緑いろの場所からの挿話・Ⅻ，—ある生涯の七つの場所・55—，海【収録誌1】『雨季の終り—ある生涯の七つの場所5』中央公論社，1982年11月10日（昭和57）【収録誌2】『人形クリニック』中公文庫1992年8月10日（平成4）

714. 『フランス革命下の—市民の日記』（原題：無題）推薦文，『フランス革命下の—市民の日記』帯，中央公論社【収録誌】『遙かなる旅への追想』新潮社，1992年4月20日（平成4）

3月

715. 『〈第一の物語 鬱ぎ〉十二の肖像画による十二の物語』文藝春秋【収録誌1】『十二の肖像画による十二の物語』文藝春秋，1981年12月10日（昭和56）【収録誌2】『風の琴 二十四の絵の物語』文春文庫，1992年5月10日（平成4）【収録誌3】『辻邦生歴史小説集成第一巻・安土往還記・十二の肖像画による十二の物語・十二の風景画への十二の旅』岩波書店，1993年6月25日（平成5）

716. 『春の湖』—橙いろの場所からの挿話・Ⅻ，—ある生涯の七つの場所・56—，海【収録誌1】『雨季の終り—ある生涯の七つの場所5』中央公論社，1982年11月10日（昭和57）【収録誌2】『人形クリニック』中公文庫，1992年8月10日（平成4）

717. 『若い人たちへの手紙』（原題「読書についての若い人たちへの手紙」）搭（聖心女子学院）第25号【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社，1990年7月25日（平成2）

3月18日

718. 『自伝抄—小説まで(1)美神の秤の下で』読売新聞 夕刊【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社，1991年5月20日（平成3）

3月19日

718. 『自伝抄—小説まで(2)“書くこと”と放心癖』読売新聞 夕刊【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社，1991年5月20日（平成3）

3月21日

718. 『自伝抄—小説まで(3)座禅から生れたもの』読売新聞 夕刊【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社，1991年5月20日（平成3）

3月22日

718. 『自伝抄—小説まで(4)庶民たちの町で』読売新聞 夕刊【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社，1991年5月20日（平成3）

3月24日

718. 『自伝抄—小説まで(5)甘納豆事件の前後』読売新聞 夕刊【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社，1991年5月20日（平成3）

3月25日

718. 『自伝抄—小説まで(6)人生の浮沈をしる』読売新聞 夕刊【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社，1991年5月20日（平成3）

3月26日

718. 『自伝抄—小説まで(7)野球と山歩きの日々』読売新聞 夕刊【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社，1991年5月20日（平成3）

3月27日

718. 『自伝抄—小説まで(8)文章作法のリズム』読売新聞 夕刊【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社，

1991年5月20日（平成3）

3月28日

718. 『自伝抄—小説まで⑨西欧体験の始まり』読売新聞 夕刊【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社，1991年5月20日（平成3）

3月29日

718. 『自伝抄—小説まで⑩永遠の夏休み』読売新聞 夕刊【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社，1991年5月20日（平成3）

3月31日

718. 『自伝抄—小説まで⑪終戦で失われたもの』読売新聞 夕刊【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社，1991年5月20日（平成3）

4月

719. 『舷灯の下で』—青い場所からの挿話・I，—ある生涯の七つの場所・57—，海【収録誌1】『雨季の終り—ある生涯の七つの場所5』中央公論社，1982年11月10日（昭和57）【収録誌2】『国境の白い山』中公文庫，1992年10月10日（平成4）

720. 『〈第二の物語 妬み〉十二の肖像画による十二の物語』文藝春秋【収録誌1】『十二の肖像画による十二の物語』文藝春秋，1981年12月10日（昭和56）【収録誌2】『風の琴 二十四の絵の物語』文春文庫，1992年5月10日（平成4）【収録誌3】『辻邦生歴史小説集成第一巻・安土往還記・十二の肖像画による十二の物語・十二の風景画への十二の旅』岩波書店，1993年6月25日（平成5）

721. 『〈歪んだ鏡〉の中で…』キネマ旬報 4月上旬号 No.783【収録誌1】Wave 17号，1988年1月（昭和63）【収録誌2】『私の映画手帖』文藝春秋，1988年10月1日（昭和63）

4月1日

718. 『自伝抄—小説まで⑫力としての知識へ』読売新聞 夕刊【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社，1991年5月20日（平成3）

722. 『東大寺幻想』アサヒグラフ 臨時増刊号

4月2日

718. 『自伝抄—小説まで⑬静寂と激動のはざま』読売新聞 夕刊【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社，1991年5月20日（平成3）

4月3日

718. 『自伝抄—小説まで⑭大都会の迷路の中で』読売新聞 夕刊【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社，1991年5月20日（平成3）

4月4日

718. 『自伝抄—小説まで⑮長い彷徨の終わり』読売新聞 夕刊【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社，1991年5月20日（平成3）

4月5日

718. 『自伝抄—小説まで⑯武蔵野の静かな日々』読売新聞 夕刊【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社，1991年5月20日（平成3）

4月7日

718. 『自伝抄—小説まで⑰栗津則雄との交遊』読売新聞 夕刊【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社，1991年5月20日（平成3）

4月8日

718. 『自伝抄—小説まで⑱長い船旅とパリの顔』読売新聞 夕刊【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社，1991年5月20日（平成3）

4月9日

718. 『自伝抄—小説まで(19)ギリシアからの光』読売新聞 夕刊【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社、1991年5月20日(平成3)
4月10日
718. 『自伝抄—小説まで(20)セーヌ河のほとりにて』読売新聞 夕刊【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社、1991年5月20日(平成3)
4月16日
723. 『詩と永遠』講演、於・朝日講堂、朝日出版主催【収録誌1】中央公論、1980年6月号【収録誌2】『詩と永遠』岩波書店、1988年6月30日(昭和63)
4月25日
724. 『幻想の鏡 現実の鏡』国書刊行会『ボルヘスを読む』(『ラテンアメリカ文学叢書』第13巻)【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社、1990年7月25日(平成2)
4月29日
725. 『「語り」と小説の間』(原題「物語と小説の間—琵琶と文学と」)講演、辻靖剛米寿記念琵琶演奏会【収録誌1】中央公論、1980年7月号(昭和55)【収録誌2】『詩と永遠』岩波書店、1988年6月30日(昭和63)
5月
726. 『ある恋の歌』短歌現代【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社、1990年7月25日(平成2)
727. 『雨季の終り』(原題「雨季の図形」)—藍いろの場所からの挿話・I、—ある生涯の七つの場所・58—、海【収録誌1】『雨季の終り—ある生涯の七つの場所5』中央公論社、1982年11月10日(昭和57)【収録誌2】『国境の白い山』中公文庫、1992年10月10日(平成4)
728. 『語感とイメージ』鼎談(大岡信、谷川俊太郎)言語生活
729. 『言葉への旅 風俗への旅—「邦訳日葡辞書」を読みながら—』図書【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社、1990年7月25日(平成2)
730. 『〈第三の物語 怖れ〉十二の肖像画による十二の物語』文藝春秋【収録誌1】『十二の肖像画による十二の物語』文藝春秋、1981年12月10日(昭和56)【収録誌2】『風の琴 二十四の絵の物語』文春文庫、1992年5月10日(平成4)【収録誌3】『辻邦生歴史小説集成第一巻・安土往還記・十二の肖像画による十二の物語・十二の風景画への十二の旅』岩波書店、1993年6月25日(平成5)
5月3日
731. 『はかなさの奥に見えるもの』(原題「花火 はかなさの奥に見えるもの」)『四季八十彩—日本人の衣食住—』日清製粉株式会社【収録誌】『遙かなる旅への追想』新潮社、1992年4月20日(平成4)
5月10日
637. 刊行：『雪崩のくる日』短篇小説集、中央公論社
5月19日
732. 『無限への鏡』『宮脇愛子銅版画集』序文、現代版画センター【収録誌】〈ギャラリーせいほう〉案内状、1980年9月1日(昭和55)
5月20日
733. 『オペラ座のシャガール』(原題「絵画の〈言葉〉での生の驚異を語る」—愛と幻想のシャガール展 特集—)読売新聞【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社、1993年10月25日(平成5)
5月30日
734. 『典雅な根源への思慕』『懷霽館—白井晟一の建築—』中央公論社
6月
735. 『ある試みの終り—コスモポリタンとエトランジェー』國文學 解釈と教材の研究【収録誌1】『森有正 感覚のめざすもの』筑摩書房、1980年12月10日(昭和55)【収録誌2】『時刻のなかの肖像』新

潮社, 1991年5月20日(平成3)

736. 『<書く>ということ』談話, 面白半分

737. 『G号埠頭にて』一青い場所からの挿話・Ⅰ, 一ある生涯の七つの場所・59一, 海【収録誌1】『雨季の終り—ある生涯の七つの場所5』中央公論社, 1982年11月10日(昭和57)【収録誌2】『国境の白い山』中公文庫, 1992年10月10日(平成4)

738. 『<第四の物語 疑い> 十二の肖像画による十二の物語』文藝春秋【収録誌1】『十二の肖像画による十二の物語』文藝春秋, 1981年12月10日(昭和56)【収録誌2】『風の琴 二十四の絵の物語』文春文庫, 1992年5月10日(平成4)【収録誌3】『辻邦生歴史小説集成第一巻・安土往還記・十二の肖像画による十二の物語・十二の風景画への十二の旅』岩波書店, 1993年6月25日(平成5)

739. 『昔のこと今のこと』『角川世界名事典 ラルース』推薦文【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)

6月10日

198. 刊行:『ユリアと魔法の都』新装版, 筑摩書房

6月11日

740. 『深く複合的なパリ』インタビュー, 読売新聞 夕刊

7月

741. 『高原の夏の光』信州の旅 33号【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)

742. 『さだまさし幻想』(原題「<さだまさし>って何」) 波【収録誌】さだまさし『時のほとり』新潮文庫, 1980年7月25日(昭和55)

743. 『勝利の女神の翼の部分』一藍いろの場所からの挿話・Ⅰ, 一ある生涯の七つの場所・60一, 海【収録誌1】『雨季の終り—ある生涯の七つの場所5』中央公論社, 1982年11月10日(昭和57)【収録誌2】『国境の白い山』中公文庫, 1992年10月10日(平成4)

744. 『<第五の物語 傲り> 十二の肖像画による十二の物語』文藝春秋【収録誌1】『十二の肖像画による十二の物語』文藝春秋, 1981年12月10日(昭和56)【収録誌2】『風の琴 二十四の絵の物語』文春文庫, 1992年5月10日(平成4)【収録誌3】『辻邦生歴史小説集成第一巻・安土往還記・十二の肖像画による十二の物語・十二の風景画への十二の旅』岩波書店, 1993年6月25日(平成5)

745. 『旅立ち前の手紙』文学 <文学の広場>【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991年5月20日(平成3)

746. 『歴史のなかを吹く追憶の風—タルコフスキー「鏡」の意味を追って』キネマ旬報, 7月下旬号 No.790【収録誌1】「友 Iwanami Hall」No.136, 1980年10月(昭和55)【収録誌2】『私の映画手帖』文藝春秋, 1988年10月1日(昭和63)

8月

747. 『<第六の物語 偽り> 十二の肖像画による十二の物語』文藝春秋【収録誌1】『十二の肖像画による十二の物語』文藝春秋, 1981年12月10日(昭和56)【収録誌2】『風の琴 二十四の絵の物語』文春文庫, 1992年5月10日(平成4)【収録誌3】『辻邦生歴史小説集成第一巻・安土往還記・十二の肖像画による十二の物語・十二の風景画への十二の旅』岩波書店, 1993年6月25日(平成5)

8月5日

748. 『埴谷さんの宇宙圏の中で』『埴谷雄高作品集』第十四巻 解説, 河出書房【収録誌1】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991年5月20日(平成3)【収録誌2】『鳩よ! <特集:埴谷雄高の世界>』(「伝説の人の素顔」の題で抄録)1991年9月(平成3)

9月

749. 『<第七の物語 謀み> 十二の肖像画による十二の物語』文藝春秋【収録誌1】『十二の肖像画によ

る十二の物語』文藝春秋, 1981年12月10日(昭和56)【収録誌2】『風の琴 二十四の絵の物語』文春文庫, 1992年5月10日(平成4)【収録誌3】『辻邦生歴史小説集成第一巻・安土往還記・十二の肖像画による十二の物語・十二の風景画への十二の旅』岩波書店, 1993年6月25日(平成5)

750. 『旅の日の光のなかで』推薦文, 黒江光彦訳『Stained Glass』内容見本 朝倉書房
9月5日

751. 『演劇の根源にあるもの—ドイツの小村の受難劇を見て—』朝日新聞 夕刊

752. 『異国の町角から』くうら紫 一葉のゆうべパンフレット・四【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)

10月

753. 『<第八の物語 驕り> 十二の肖像画による十二の物語』文藝春秋【収録誌1】『十二の肖像画による十二の物語』文藝春秋, 1981年12月10日(昭和56)【収録誌2】『風の琴 二十四の絵の物語』文春文庫, 1992年5月10日(平成4)【収録誌3】『辻邦生歴史小説集成第一巻・安土往還記・十二の肖像画による十二の物語・十二の風景画への十二の旅』岩波書店, 1993年6月25日(平成5)

754. 『日記抄』1980.6.16~1980.9.17, 日記, 海【収録誌1】『夏的光満ちて *パリの時 1980.6~1980.9』中央公論社, 1982年4月30日(昭和57)【収録誌2】『世界 知の旅 <8恋と自由のセーヌ河>』小学館, 1986年6月10日(昭和61)

11月

755. 『<第九の物語 吝い> 十二の肖像画による十二の物語』文藝春秋【収録誌1】『十二の肖像画による十二の物語』文藝春秋, 1981年12月10日(昭和56)【収録誌2】『少年少女文学館・21』講談社, 1987年3月15日(昭和62)【収録誌3】『風の琴 二十四の絵の物語』文春文庫, 1992年5月10日(平成4)【収録誌4】『辻邦生歴史小説集成第一巻・安土往還記・十二の肖像画による十二の物語・十二の風景画への十二の旅』岩波書店, 1993年6月25日(平成5)

11月14日

756. 『樹の声 海の声 間奏曲2』, 朝日ジャーナル【収録誌】『樹の声 海の声』(中), 朝日新聞社, 1982年5月20日(昭和57)

11月30日

757. 刊行:『橄欖の小枝』藝術論集, 中央公論社

758. 『橄欖の小枝—あとがきにかえて』『橄欖の小枝』中央公論社

12月

759. 『ある航跡を追って』推薦文, 池澤夏樹『サーカムナヴィゲーション』帯, イザラ書房【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991年5月20日(平成3)

760. 『<第十の物語 狂い> 十二の肖像画による十二の物語』文藝春秋【収録誌1】『十二の肖像画による十二の物語』文藝春秋, 1981年12月10日(昭和56)【収録誌2】『風の琴 二十四の絵の物語』文春文庫, 1992年5月10日(平成4)【収録誌3】『辻邦生歴史小説集成第一巻・安土往還記・十二の肖像画による十二の物語・十二の風景画への十二の旅』岩波書店, 1993年6月25日(平成5)

12月10日

761. 『あとがき—<森有正—感覚のめざすもの—』『森有正—感覚のめざすもの—』筑摩書房

762. 刊行:『森有正—感覚のめざすもの—』筑摩書房

1981年1月(昭和56)

763. 『<第十一の物語 焚り> 十二の肖像画による十二の物語』文藝春秋【収録誌1】『十二の肖像画による十二の物語』文藝春秋, 1981年12月10日(昭和56)【収録誌2】『少年少女文学館・21』講談社, 1987年3月15日(昭和62)【収録誌3】『風の琴 二十四の絵の物語』文春文庫, 1992年5月10日(平成4)【収録誌4】『辻邦生歴史小説集成第一巻・安土往還記・十二の肖像画による十二の物語・十二

の風景画への十二の旅』岩波書店, 1993年6月25日(平成5)

1月2日

643. 『樹の声 海の声』第三部(→1981年12月5日号, 49回連載), 朝日ジャーナル【収録誌1】『樹の声 海の声』下, 朝日新聞社, 1982年6月20日(昭和57)【収録誌2】『樹の声 海の声』限定版, 朝日新聞社, 1983年4月15日(昭和58)【収録誌3】『樹の声 海の声』朝日文庫<1~6>, 1985年11月20日(昭和60)

2月

764. 『第十二の物語 誇り』十二の肖像画による十二の物語』文藝春秋【収録誌1】『十二の肖像画による十二の物語』文藝春秋, 1981年12月10日(昭和56)【収録誌2】『風の琴 二十四の絵の物語』文春文庫, 1992年5月10日(平成4)【収録誌3】『辻邦生歴史小説集成第一巻・安土往還記・十二の肖像画による十二の物語・十二の風景画への十二の旅』岩波書店, 1993年6月25日(平成5)

765. 『「夏の海の色」の全体像』書き下ろし, 光村図書「中学国語 三下 教師用指導書」

3月

766. 『パリの時 旅の時』波【収録誌】『遙かなる旅への追想』新潮社, 1992年4月20日(平成4)

4月5日

767. 刊行:『風塵の街から』辻邦生第五エッセー集1976~1977, 新潮社

768. 『風塵の街から一あとがきにかえて』『風塵の街から』辻邦生第五エッセー集1976~1977, 新潮社【収録誌】『地中海幻想の旅から』レグルス文庫, 1990年5月30日(平成2)

5月

769. 『中米を横切るロマネスク』(原題「新しい時代の脈動が伝わる」)安藤二葉『燕たちの調書』推薦文, 集英社【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)

5月7日

770. 『小説家への道』講演, パリ第三大学文学部日本文学科(講演題名「小説を見出すまで Le roman: histoire d'une découverte」)【収録誌】『詩と永遠』岩波書店, 1988年6月30日(昭和63)

7月3日

771. 『私の見た“パリ燃ゆ”一民衆は紅い薔薇に抑圧のはけ口を求めた一』朝日ジャーナル【収録誌】『遙かなる旅への追想』新潮社, 1992年4月20日(平成4)

7月13日

772. 『人間の対話の生れる場所—フランスで暮して—』朝日新聞 夕刊7/13, 14【収録誌1】『時の果実』朝日新聞社, 1984年6月25日(昭和59)【収録誌2】『遙かなる旅への追想』新潮社, 1992年4月20日(平成4)

8月

773. 『ヴィスコンテを解く鍵—健全な<崇高>さ』キネマ旬報 8月上旬号 No.818【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋, 1988年10月1日(昭和63)

774. 『星々への思い』小谷隆一『やまなみ帖』附録, 茗溪堂【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991年5月20日(平成3)

9月

775. 『人生と“縁”を語る』対談(幸田文) 婦人之友

10月

776. 『ある投影としての二〇年代』思想<思想の言葉>第688号【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991年5月20日(平成3)

777. 『<声>の時間そして時間の<声>』(原題「時間のなかの幸田さんの<声>」)『樋口一葉作品集 1』付録, 小学館カセット文庫【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)

778. 『ことばの空間・朗読の世界』対談(幸田弘子) 一葉のゆうべパンフレット・五

10月31日

779. 『イタリア古寺巡礼』 読売新聞 夕刊

12月

780. 『危機への戦慄—「ストーカー」の前衛性の意味—』 キネマ旬報 12月下旬号 No.825 【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋, 1988年10月1日(昭和63)781. 『季節と時刻のなかの素顔』 アサヒグラフ 【収録誌】『遙かなる旅への追想』新潮社, 1992年4月20日(平成4)782. 『〈美〉との出会い』対談(柳宗幻) 図書

12月10日

783. 刊行: 『十二の肖像画による十二の物語』短篇小説集, 文藝春秋【収録誌1】『風の琴 二十四の絵の物語』文春文庫, 1992年5月10日(平成4) 【収録誌2】『辻邦生歴史小説集成第一巻・安土往還記・十二の肖像画による十二の物語・十二の風景画への十二の旅』岩波書店, 1993年6月25日(平成5)

12月18日

784. 『ヌーヴェル・ヴァーグ以後』(原題「育ち出したヌーベルバーグの次の世代」—活気を見せてきたフランス映画の新傾向—) 週刊朝日 【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋, 1988年10月1日(昭和63)

1982年1月(昭和57)

785. 『Uボートへの鎮魂歌』 キネマ旬報 1月下旬号 No.828 【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋, 1988年10月1日(昭和63)786. 『湖畔の焚火』—青い場所からの挿話・Ⅲ, 一ある生涯の七つの場所・61—, 海 【収録誌1】『国境の白い山—ある生涯の七つの場所6』中央公論社, 1984年6月25日(昭和59) 【収録誌2】『国境の白い山』中公文庫, 1992年10月10日(平成4)787. 『パリ, デカルト街から』(→1982年12月, 12回連載) 中央公論 【収録誌】『冬の霧立ちて **パリの時 1980.9~1981.2』中央公論社, 1983年4月20日(昭和58)602. 『フーシェ革命暦』第二部(→1989年4月, 84回連載), 文學界 【収録誌】『フーシェ革命暦』Ⅰ, 文藝春秋, 1989年7月25日(平成1)

1月29日

788. 『〈樹の声 海の声〉をめぐって』(原題「日本の近代化と西欧の接点を生きた女性」) 対談(渡辺一民) 朝日ジャーナル 【収録誌】『樹の声 海の声』(下) 付録, 朝日新聞社, 1982年6月29日(昭和57)

2月

789. 『銀杏散りやまず』(→1983年12月, 17回連載) 新潮 【収録誌1】『銀杏散りやまず』新潮社, 1989年9月20日(平成1) 【収録誌2】『辻邦生歴史小説集成第十一巻・銀杏散りやまず』岩波書店, 1993年7月26日(平成5) 【収録誌3】『銀杏散りやまず』新潮文庫, 1995年6月1日(平成7)790. 『「古代」への旅と郷愁』 波 【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日(平成5)791. 『国境の白い山』—藍いろの場所からの挿話・Ⅲ, 一ある生涯の七つの場所・62—, 海 【収録誌1】『国境の白い山—ある生涯の七つの場所6』中央公論社, 1984年6月25日(昭和59) 【収録誌2】『国境の白い山』中公文庫, 1992年10月10日(平成4)

3月

792. 『あるドラマについて』「エピータ」上演プログラム, 劇団四季793. 『ウチの論理・ソトの論理—私的情況の根底にあるもの—』 広告批評 【収録誌】『遙かなる旅への追想』新潮社, 1992年4月20日(平成4)794. 『ワシントン街517』—青い場所からの挿話・Ⅳ, 一ある生涯の七つの場所・63—, 海 【収録誌1】『国境の白い山—ある生涯の七つの場所6』中央公論社, 1984年6月25日(昭和59) 【収録誌2】『国境の白い山』中公文庫, 1992年10月10日(平成4)

4月

795. 『燕の飛び立つ日』一藍いろの場所からの挿話・Ⅳ，一ある生涯の七つの場所・64一，海【収録誌1】『国境の白い山一ある生涯の七つの場所6』中央公論社，1984年6月25日（昭和59）【収録誌2】『昭和文学全集く辻邦生 小川国夫 加賀乙彦 高橋和巳 倉橋由美子 田久保英夫 黒井千次』第20巻，小学館，1987年4月1日（昭和62）【収録誌3】『国境の白い山』中公文庫，1992年10月10日（平成4）

4月

796. 『平和へのリアリティ』（原文は無題）アンケート回答，岩波ブックレット No.1【収録誌】『遙かなる旅への追想』新潮社，1992年4月20日（平成4）
797. 『放浪する心の歌』推薦文『ヘッセ全集』内容見本，新潮社【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社，1990年7月25日（平成2）

4月20日

643. 刊行：『樹の声 海の声』上，朝日新聞社

4月30日

798. 『あとがき一<夏の光 満ちて>』『夏の光 満ちて』中央公論社
799. 刊行：『夏の光 満ちて＊バリの時 1980.6～1980.9』中央公論社

5月20日

643. 刊行：『樹の声 海の声』中，朝日新聞社

6月

800. 『現代映画の傾向一世界の曲り角で一』（原題「映画一世界の曲り角の中で」）キネマ旬報 6月下旬号 No.838【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋，1988年10月1日（昭和63）
801. 『三年の充実をもたらしたもの』推薦文，小泉淳作さし絵原画展 案内状
802. 『仕事の合間に思うこと』オッターマガジン Vol. 9【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社，1991年5月20日（平成3）
803. 『詩人であること一新潮日本古典集成「芭蕉句集」によせて一』波【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社，1990年7月25日（平成2）

804. 『巷の底で』（原題「巷の底」）一青い場所からの挿話・Ⅴ，一ある生涯の七つの場所・65一，海【収録誌1】『国境の白い山一ある生涯の七つの場所6』中央公論社，1984年6月25日（昭和59）【収録誌2】『国境の白い山』中公文庫，1992年10月10日（平成4）

6月5日

805. 『ゲートにおけるよろこびと日々』講演，「ゲート没落150年記念祭」慶応大学久保田万太郎記念資金委員会主催【収録誌1】「思想」岩波書店，1982年9月1日（昭和57）【収録誌2】『詩と永遠』岩波書店，1988年6月30日（昭和63）

6月20日

643. 刊行：『樹の声 海の声』下，朝日新聞社

7月

806. 『自然への回帰の旅』対談（長谷川泉）古典と現代 第49号
807. 『旅人たちの夜の歌』一藍いろの場所からの挿話・Ⅴ，一ある生涯の七つの場所・66一，海【収録誌1】『国境の白い山一ある生涯の七つの場所6』中央公論社，1984年6月25日（昭和59）【収録誌2】『国境の白い山』中公文庫，1992年10月10日（平成4）

7月10日

808. 『世界への眼 世界からの眼』毎日新聞 夕刊【収録誌】『遙かなる旅への追想』新潮社，1992年4月20日（平成4）

8月

809. 『カルティエ・ラタンの古い家』海燕【収録誌】『遙かなる旅への追想』新潮社, 1992年4月20日(平成4)
810. 『夜警の眠り』一青い場所からの挿話・VI, 一ある生涯の七つの場所・67一, 海【収録誌1】『国境の白い山一ある生涯の七つの場所6』中央公論社, 1984年6月25日(昭和59)【収録誌2】『国境の白い山』中公文庫, 1992年10月10日(平成4)
- 8月16日
811. 『崩れるフランス精神』談話, 信濃毎日新聞 夕刊
- 9月
812. 『小説家であること』『山本周五郎全集第17巻』付録, 新潮社【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)
813. 『長篇小説の方法一〈樹の声 海の声〉をめぐって一』インタビュー(聞き手:清水徹), 海
- 10月
814. 『ある転換期の芸術家の肖像一ギョーム・デュファイをめぐって一』『デュファイ…世俗音楽全集』付録, ロンドンレコード【収録誌1】『デュファイ一ある転換期の芸術家の肖像一』限定版, 湯川書房, 1986年5月15日(昭和61)【収録誌2】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日(平成5)
815. 『読書をめぐる思い出』(原題「師と仰いだマン」) 郵政【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991年5月20日(平成3)
816. 『野の衰草』一藍いろの場所からの挿話・VI, 一ある生涯の七つの場所・68一, 海【収録誌1】『国境の白い山一ある生涯の七つの場所6』中央公論社, 1984年6月25日(昭和59)【収録誌2】『国境の白い山』中公文庫, 1992年10月10日(平成4)
- 11月
817. 『天国へのぼる梯子』一青い場所からの挿話・VII, 一ある生涯の七つの場所・69一, 海【収録誌1】『国境の白い山一ある生涯の七つの場所6』中央公論社, 1984年6月25日(昭和59)【収録誌2】『国境の白い山』中公文庫, 1992年10月10日(平成4)
818. 『私の近況』新刊ニュース【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991年5月20日(平成3)
- 11月10日
819. 『あとがき一〈雨季の終り〉』『雨季の終り』中央公論社
727. 刊行:『雨季の終り』短篇集, 中央公論社
- 11月30日
8. 20 『アメリカの夜』『私の一本の映画』キネマ旬報社
- 12月
821. 『〈星の王子さま〉とぼくたち』対談(北杜夫), 海 臨時増刊号〈子どもの宇宙〉【収録誌】岩波ブックレットNo.176, 1990年11月20日(平成2)
822. 『読む幸福をもたらす風』推薦文, 『アンデスの風叢書』内容見本, 書肆風の薔薇【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)
- 1983年1月(昭和58)
823. 『女たちの神話一〈歴史をつくる女たち〉の発刊に寄せて』青春と読書【収録誌】『遙かなる旅への追想』新潮社, 1992年4月20日(平成4)
824. 『象徴派の森を過ぎるとき一ベルギー象徴派展について一』現代の眼
825. 『大虚のなかに在ること』藝術新潮【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日(平成5)
826. 『鳥たちの横切る空』一藍いろの場所からの挿話・VII, 一ある生涯の七つの場所・70一, 海【収録誌1】『国境の白い山一ある生涯の七つの場所6』中央公論社, 1984年6月25日(昭和59)【収録誌2】『国境の白い山』中公文庫, 1992年10月10日(平成4)

1月24日

827. 刊行：『トーマス・マン』〈20世紀思想家文庫〉（書き下ろし），岩波書店

2月

828. 『生きることのすばらしさ』インタビュー，IUP No.18

829. 『黒人霊歌』—青い場所からの挿話・Ⅷ，—ある生涯の七つの場所・71—，海【収録誌1】『国境の白い山—ある生涯の七つの場所6』中央公論社，1984年6月25日（昭和59）【収録誌2】『椎の木のほとり』中公文庫1993年1月10日（平成5）

830. 『間奏曲（フーシェ革命暦）』（原題「間奏曲—作者から読者への手紙」）文學界【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社，1990年7月25日（平成2年）

831. 『もうひとつの夜へ』すばる【収録誌】『もうひとつの夜へ』集英社，1983年10月10日（昭和58）

3月

832. 『里見弴先生の若さ』中央公論【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社，1991年5月20日（平成3）

833. 『聖堂まで』—藍いろの場所からの挿話・Ⅷ，—ある生涯の七つの場所・72—，海【収録誌1】『国境の白い山—ある生涯の七つの場所6』中央公論社，1984年6月25日（昭和59）【収録誌2】『椎の木のほとり』中公文庫，1993年1月10日（平成5）

834. 『〈第一の旅 金の壺〉十二の風景画への十二の旅』文藝春秋【収録誌1】『十二の風景画への十二の旅』文藝春秋，1984年9月15日（昭和59）【収録誌2】『風の琴 二十四の絵の物語』文春文庫，1992年5月10日（平成4）【収録誌3】『辻邦生歴史小説集成第一巻・安土往還記・十二の肖像画による十二の物語・十二の風景画への十二の旅』岩波書店，1993年6月25日（平成5）

3月16日

835. 『体力的にも仕事できる時』山陽新聞

4月

836. 『オーベルにて』対談（長谷川泉）古典と現代 第52号

837. 『〈第二の旅 地の掟〉十二の風景画への十二の旅』文藝春秋【収録誌1】『十二の風景画への十二の旅』文藝春秋，1984年9月15日（昭和59）【収録誌2】『風の琴 二十四の絵の物語』文春文庫，1992年5月10日（平成4）【収録誌3】『辻邦生歴史小説集成第一巻・安土往還記・十二の肖像画による十二の物語・十二の風景画への十二の旅』岩波書店，1993年6月25日（平成5）

838. 『知的ロマネスクについて』（原題「知的ロマネスの饗宴へ」）『ヘンリー・ジェイムス作品集』推薦文，国書刊行会【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社，1990年7月25日（平成2）

839. 『図書館への郷愁』図書館雑誌【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社，1991年5月20日（平成3）

840. 『日本の百宝』アンケート，藝術新潮 400号記念特大号

841. 『ヘルツォークの場合』（原題「アギーレ・神の怒り」—ヘルツォークの場合—）キネマ旬報 4月下旬号 No.858【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋，1988年10月1日（昭和63）

842. 『雲の街から』—青い場所からの挿話・Ⅸ，—ある生涯の七つの場所・73—，海【収録誌1】『椎の木のほとり—ある生涯の七つの場所7』中央公論社，1988年1月20日（昭和63）【収録誌2】『椎の木のほとり』中公文庫，1993年1月10日（平成5）

4月15日

643. 刊行：『樹の声 海の声』（限定版）朝日新聞社

4月30日

843. 『あとがき—冬霧立ちて—』『冬霧立ちて』中央公論社

844. 刊行：『冬霧立ちて **パリの時』月記，中央公論社

5月

845. 『〈第三の旅 風の琴〉十二の風景画への十二の旅』文藝春秋【収録誌1】『十二の風景画への十二の

- 旅』文藝春秋，1984年9月15日(昭和59)【収録誌2】『風の琴 二十四の絵の物語』文春文庫，1992年5月10日(平成4)【収録誌3】『辻邦生歴史小説集成第一巻・安土往還記・十二の肖像画による十二の物語・十二の風景画への十二の旅』岩波書店，1993年6月25日(平成5)
846. 『辻邦生のDIVA』カレンダー 5月号
847. 『夜 そして <知る> 楽しみ』(原文は無題)，推薦文，新潮選書解説目録【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社，1990年7月25日(平成2)
- 5月・1日
848. 『地中海遺跡を巡る旅』日本経済新聞【収録誌】『遙かなる旅への追想』新潮社，1992年4月20日(平成4)
- 5月20日
849. 『大岡信との二つの旅』『現代の詩人・11 大岡信』中央公論社【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社，1991年5月20日(平成3)
850. 『わがルクレツィア』(原題「ルクレツィア・ボルジア」)伝記，『歴史をつくる女たち第3巻<ルネサンスの光と影>』集英社【収録誌】『遙かなる旅への追想』新潮社，1992年4月20日(平成4)
- 5月25日
851. 『文学，そして生活の喜び』婦人之友 創刊八十周年記念講演「日本文化と婦人之友」【収録誌】『婦人之友』婦人之友社，1983年8月1日(昭和58)
- 6月
852. 『雨の逃亡者』(原題「逃亡者」)一藍いろの場所からの挿話・Ⅸ，一ある生涯の七つの場所・74一，海【収録誌1】『椎の木のほとり一ある生涯の七つの場所7』中央公論社，1988年1月20日(昭和63)【収録誌2】『椎の木のほとり』中公文庫，1993年1月10日(平成5)
853. 『失われていない夢』オッターマガジン Vol. 10【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社，1991年5月20日(平成3)
854. 『<第四の旅 氷の鏡> 十二の風景画への十二の旅』文藝春秋【収録誌1】『十二の風景画への十二の旅』文藝春秋，1984年9月15日(昭和59)【収録誌2】『風の琴 二十四の絵の物語』文春文庫，1992年5月10日(平成4)【収録誌3】『辻邦生歴史小説集成第一巻・安土往還記・十二の肖像画による十二の物語・十二の風景画への十二の旅』岩波書店，1993年6月25日(平成5)
855. 『廃墟の石によりて』『新世紀の贈り物 創造的人間学のパノラマ』平河出版【収録誌】『遙かなる旅への追想』新潮社，1992年4月20日(平成4)
856. 『山本周五郎論(←)小説世界の入口の前で』『山本周五郎全集』付録，新潮社
- 6月10日
857. 『日本の生きかたに共鳴した若者たち フランス一紅い薔薇ミッテランへの反乱』対談(海老坂武)朝日ジャーナル
- 6月20日
858. 『権力のなかの女たち』『歴史をつくる女たち第4巻<華麗なる宮廷の誘惑>』集英社【収録誌】『遙かなる旅への追想』新潮社，1992年4月20日(平成4年)
- 7月
859. 『映画一この道を過ぎて』—マルセル・カルネ会見記—，キネマ旬報 7月上旬号 No.864
860. 『<第五の旅 愛の棘> 十二の風景画への十二の旅』文藝春秋【収録誌1】『十二の風景画への十二の旅』文藝春秋，1984年9月15日(昭和59)【収録誌2】『風の琴 二十四の絵の物語』文春文庫，1992年5月10日(平成4)【収録誌3】『辻邦生歴史小説集成第一巻・安土往還記・十二の肖像画による十二の物語・十二の風景画への十二の旅』岩波書店，1993年6月25日(平成5)
861. 『フランスからの帰りに見た小津作品』木曾福島・第3回フィルムハウス上映会パンフレット

862. 『薬師丸ひろ子・角川春樹について』 アンケート回答, シネ・フロント
856. 『山本周五郎論(二)事実と虚構』 『山本周五郎全集』 付録, 新潮社
863. 『夜が終る時』 —青い場所からの挿話・X, —ある生涯の七つの場所・75—, 海【収録誌1】『椎の木のほitori—ある生涯の七つの場所7』中央公論社, 1988年1月20日(昭和63)【収録誌2】『椎の木のほitori』中公文庫, 1993年1月10日(平成5)
- 7月1日
864. 『故郷の山 故郷の川』 山梨日日新聞【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991年5月20日(平成3)
- 7月15日
865. 『フィツカラルド—全身これ勇気の塊となって映画館を出てくること請け合い—』 アサヒグラフ
- 7月22日
866. 『長い青春の旅の終り』 信濃毎日新聞(福井新聞「青春の終り」?)【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991年5月20日(平成3)
- 8月
867. 『愛の行為の果て』 「ヘカテ」上映パンフレット, ヘラルド・エース発行【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋, 1988年10月1日(昭和63)
868. 『黄いろい海』 —藍いろの場所からの挿話・X, —ある生涯の七つの場所・76—, 海【収録誌1】『椎の木のほitori—ある生涯の七つの場所7』中央公論社, 1988年1月20日(昭和63)【収録誌2】『椎の木のほitori』中公文庫, 1993年1月10日(平成5)
869. 『小説家の意識と在り方』 『モーリヤック著作集第6巻』月報4, 春秋社【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)
870. 『〈第六の旅 貝の火〉 十二の風景画への十二の旅』 文藝春秋【収録誌1】『十二の風景画への十二の旅』文藝春秋, 1984年9月15日(昭和59)【収録誌2】『風の琴 二十四の絵の物語』文春文庫, 1992年5月10日(平成4)【収録誌3】『辻邦生歴史小説集成第一巻・安土往還記・十二の肖像画による十二の物語・十二の風景画への十二の旅』岩波書店, 1993年6月25日(平成5)
871. 『妻』であること』 解説, 『歴史をつくる女たち第6巻〈妻の名のもとに〉』集英社【収録誌】『遙かなる旅への追想』新潮社, 1992年4月20日(平成4)
872. 『時の逝く足音—シュトルム〈マルテと彼女の時計〉—』 飛ぶ教室 第7号〈わたしの好きな小説〉【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)
873. 『晩年のプロフィール』 『辰野隆随想全集第四巻』月報4, 福武書店【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991年5月20日(平成3)
856. 『山本周五郎論(三)面白さと小説技法と』 『山本周五郎全集』付録, 新潮社
- 8月20日
874. 『三分間インタビュー』 読書情報
- 9月
875. 『生きることと言うことの間』 (原題「『火の子』の片隅での物語」) 火の子の宇宙【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991.05.20(平成3年)
876. 『庶民生活の哀歓がただよウムフタール街』 マリー・クレール【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991年5月20日(平成3)
877. 『〈第七の旅 幻の果〉 十二の風景画への十二の旅』 文藝春秋【収録誌1】『十二の風景画への十二の旅』文藝春秋, 1984年9月15日(昭和59)【収録誌2】『風の琴 二十四の絵の物語』文春文庫, 1992年5月10日(平成4)【収録誌3】『辻邦生歴史小説集成第一巻・安土往還記・十二の肖像画による十二の物語・十二の風景画への十二の旅』岩波書店, 1993年6月25日(平成5)

878. 『パリの空 今日も晴れて』一青い場所からの挿話・Ⅺ, 一ある生涯の七つの場所・77一, 海【収録誌1】『椎の木のほitori一ある生涯の七つの場所7』中央公論社, 1988年1月20日(昭和63)【収録誌2】『椎の木のほitori』中公文庫1993年1月10日(平成5)
879. 『魔術的リアリズムの表と裏一カルペンティエールの意味するもの一』(原題「魔術的リアリズムの表と裏」) すばる <特集: いまラテンアメリカ文学> 【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)
856. 『山本周五郎(四)主題と趣向と』『山本周五郎全集』付録, 新潮社
9月13日
880. 『生への深い愛着』毎日新聞 夕刊 <エルミタージュ美術館展Ⅱ一風景の輝き②一>
10月
881. 『ある夜明けの生誕に一飯田善国の詩的世界と出会って一』飯田善国『見知らぬ町で』付録, 思潮社【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991年5月20日(平成3)
882. 『静かな村外れの十字架の前で』一藍いろの場所からの挿話・Ⅺ, 一ある生涯の七つの場所・78一, 海【収録誌1】『椎の木のほitori一ある生涯の七つの場所7』中央公論社, 1988年1月20日(昭和63)【収録誌2】『椎の木のほitori』中公文庫, 1993年1月10日(平成5)
883. 『<第八の旅 地の装> 十二の風景画への十二の旅』文藝春秋【収録誌1】『十二の風景画への十二の旅』文藝春秋, 1984年9月15日(昭和59)【収録誌2】『風の琴 二十四の絵の物語』文春文庫, 1992年5月10日(平成4)【収録誌3】『辻邦生歴史小説集成第一巻・安土往還記・十二の肖像画による十二の物語・十二の風景画への十二の旅』岩波書店, 1993年6月25日(平成5)
856. 『山本周五郎論(四)見ることと思うこと』『山本周五郎全集』付録, 新潮社
10月10日
831. 刊行: 『もうひとつの夜へ』(短篇集) 集英社
11月
884. 『青葉の時間』一青い場所からの挿話・Ⅺ, 一ある生涯の七つの場所・79一, 海【収録誌1】『椎の木のほitori一ある生涯の七つの場所7』中央公論社, 1988年1月20日(昭和63)【収録誌2】『椎の木のほitori』中公文庫, 1993年1月10日(平成5)
885. 『現実と幻想のくawaii』のドラマ』キネマ旬報 11月上旬号 No.872【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋, 1988年10月1日(昭和63)
886. 『ソフィーが選択したもの』対談(大浦暁生) 波
887. 『<第九の旅 霧の柩> 十二の風景画への十二の旅』文藝春秋【収録誌1】『十二の風景画への十二の旅』文藝春秋, 1984年9月15日(昭和59)【収録誌2】『霧中の炙柩』訳林 1985年第三期, 江蘇人民出版社, 1985(昭和60)【収録誌3】『風の琴 二十四の絵の物語』文春文庫, 1992年5月10日(平成4)【収録誌4】『辻邦生歴史小説集成第一巻・安土往還記・十二の肖像画による十二の物語・十二の風景画への十二の旅』岩波書店, 1993年6月25日(平成5)
888. 『魂の煉獄によせて』(原題「ある魂の煉獄から一飯田善国のプロフィールに寄せて」) 飯田善国展パンフレット【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991年5月20日(平成3)
856. 『山本周五郎論(六)リアリズムとイデアリズム』『山本周五郎全集』付録, 新潮社
889. 『わが町の遠近』新潮45+ 【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991年5月20日(平成3)
11月7日
890. 『悪の深淵からの光一「ソフィーの選択」映画と原作から』毎日新聞 夕刊【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋, 1988年10月1日(昭和63)
11月20日
891. 『わが魂の <ルネッサンス>』<増刊 婦人公論一ザ・ルネッサンス・ブッカー> 中央公論社

12月

892. 『エトルタ七夜』一藍いろの場所からの挿話・Ⅻ, 一ある生涯の七つの場所・80一, 海【収録誌1】『椎の木のほとり一ある生涯の七つの場所7』中央公論社, 1988年1月20日(昭和63)【収録誌2】『椎の木のほとり』中公文庫, 1993年1月10日(平成5)
893. 『〈第十の旅 海の貌〉十二の風景画への十二の旅』文藝春秋【収録誌1】『十二の風景画への十二の旅』文藝春秋, 1984年9月15日(昭和59)【収録誌2】『風の琴 二十四の絵の物語』文春文庫, 1992年5月10日(平成4)【収録誌3】『辻邦生歴史小説集成第一巻・安土往還記・十二の肖像画による十二の物語・十二の風景画への十二の旅』岩波書店, 1993年6月25日(平成5)
856. 『山本周五郎論(七)「一円二十銭」と「一と二〇」』『山本周五郎全集』付録, 新潮社
- 12月30日
894. 『風信』今村俊三著『挑滴コラム』序文, 挑滴舎【収録誌】今村俊三『挑滴記』挑滴舎, 1987年10月20日(昭和62)
1984年1月(昭和59)
895. 『〈第十一の旅 緑の枝〉十二の風景画への十二の旅』文藝春秋【収録誌1】『十二の風景画への十二の旅』文藝春秋, 1984年9月15日(昭和59)【収録誌2】『風の琴 二十四の絵の物語』文春文庫, 1992年5月10日(平成4)【収録誌3】『辻邦生歴史小説集成第一巻・安土往還記・十二の肖像画による十二の物語・十二の風景画への十二の旅』岩波書店, 1993年6月25日(平成5)
896. 『地上に在ることの喜び』あけぼの【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991年5月20日(平成3)
897. 『手紙への思い』郵政【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991年5月20日(平成3)
898. 『パリ現代史ノート』歴史と人物【収録誌】『春の風駆けて ***パリの時』中央公論社, 1986年2月25日(昭和61)
899. 『ぼくたちの原風景』対談(北杜夫) 海
900. 『墓地へゆく道』睡蓮の午後・1, 海燕【収録誌】『水蓮の午後』福武書店, 1990年5月15日(平成2)
856. 『山本周五郎論(八)戦前と戦後の間』『山本周五郎全集』付録, 新潮社
- 1月1日
901. 『澄んだ目がとらえるもの』共同通信【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)
- 2月
902. 『書くことと生きること』国語展望 第66号【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991年5月20日(平成3)
903. 『幻想という泉の前で』(原題「幻想—この魂の泉の前で」)推薦文『世界文学体系』内容見本, 国書刊行会【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)
904. 『椎の木のほとり』(原題「椎の木の周囲」)一青い場所からの挿話・Ⅻ, 一ある生涯の七つの場所・81一, 海【収録誌1】『椎の木のほとり一ある生涯の七つの場所7』中央公論社, 1988年1月20日(昭和63)【収録誌2】『椎の木のほとり』中公文庫, 1993年1月10日(平成5)
905. 『時間の地平のなかの西行』國文學解釈と教材の研究【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)
906. 『〈第十二の旅 馬の翼〉十二の風景画への十二の旅』文藝春秋【収録誌1】『十二の風景画への十二の旅』文藝春秋, 1984年9月15日(昭和59)【収録誌2】『風の琴 二十四の絵の物語』文春文庫』1992年5月10日(平成4)【収録誌3】『辻邦生歴史小説集成第一巻・安土往還記・十二の肖像画による十二の物語・十二の風景画への十二の旅』岩波書店, 1993年6月25日(平成5)

907. 『ヌーヴェル・ヴァーグの橄欖の小枝』夜想 11号〈特集：ヌーヴェル・ヴァーグ 25〉ペヨトル工房
856. 『山本周五郎論(往相と還相と)』『山本周五郎全集』付録，新潮社
908. 『わが哲学時代から』學燈【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社，1991年5月20日（平成3）
909. 『わたしのドストエフスキー』ドストエーフスキイ研究 創刊号〈特集：ドストエーフスキイと深層心理〉海燕書房【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社，1990年7月25日（平成2）
910. 『天と地を結ぶもの—ミケランジェロの歩いた道—』読売新聞 特集：魅えるバチカンの壁画【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社，1993年10月25日（平成5）
2月10日
911. 『プッサンの遺言（テストマン）』『プッサン』〈カンヴァス 世界の大画家・14〉中央公論社【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社1993年10月25日（平成5）
3月
912. 『ゴーギャン〈ネヴァーモア〉』藝術新潮
913. 『薔薇の眠り』—藍いろの場所からの挿話・Ⅷ，—ある生涯の七つの場所・82—，海【収録誌1】『椎の木のほitori—ある生涯の七つの場所7』中央公論社，1988年1月20日（昭和63）【収録誌2】『椎の木のほitori』中公文庫1993年1月10日（平成5）
914. 『フランスで感じた日本語』『日本文学』【収録誌】『遙かなる旅への追想』新潮社，1992年4月20日（平成4）
915. 『もうひとつの夜へ—孤独な魂の転身譚』インタビュー，季刊 幻想文学
3月26日
916. 『わが音楽遍歴の風景(1)ロッセ・レーマンに魅了されて』（原題「音楽の聞える場所」）FM fan【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社，1993年10月25日（平成5）
3月30日
917. 『ある自己回帰者の旅』『大岡昇平集』第18巻，岩波書店【収録誌1】大江健三郎 他『大岡昇平の世界』岩波書店，1989年9月28日（平成1）【収録誌2】『永遠の書架にたちて』新潮社，1990年7月25日（平成2）
4月
918. 『赤い扇』—青い場所からの挿話・Ⅷ（原題「父への手紙」），—ある生涯の七つの場所・83—，海【収録誌1】『椎の木のほitori—ある生涯の七つの場所7』中央公論社，1988年1月20日（昭和63）【収録誌2】『椎の木のほitori』中公文庫，1993年1月10日（平成5）
919. 『書物としてのパリの魅惑』ふらんす【収録誌】『遙かなる旅への追想』新潮社，1992年4月20日（平成4）
920. 『タルコフスキーの背景にあるもの』（原題「ノスタルジア—タルコフスキーの背景にあるもの」）キネマ旬報 4月上旬号 No.883【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋，1988年10月1日（昭和63）
921. 『年に一度の……』別冊文藝春秋—随筆名人戦—167号【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社，1991年5月20日（平成3）
922. 『美の秩序にふれて』（原題「美の秩序にふれる—私と西欧名画—」）『交通公社のMOOK・一流シリーズ(7)〈日本にある世界の名画〉』交通公社【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社，1993年10月25日（平成5）
923. 『堀田さんとの来し方行く末—パリのこと，バルセロナのこと—』波【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社，1991年5月20日（平成3）
924. 『物に深く触れることについて—くすばる〉の100号記念に寄せて』すばる【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社，1991年5月20日（平成3）
925. 『私の映画遍歴の始まり』シネマ・スクエア・マガジン No.20

- 4月9日
916. 『わが音楽遍歴の風景(2)文学と音楽の間で』(原題「音楽の聞える場所」) FM fan 【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日(平成5)
- 4月10日
926. 『映画「ノスタルジア」の世界』朝日新聞 夕刊【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋, 1988年10月1日(昭和63)
- 4月23日
916. 『わが音楽遍歴の風景(3)ドイツ—宿命的に音楽的な—』(原題「音楽の聞える場所」) FM fan 【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日(平成5)
- 4月25日
927. 『初夏の心象から』『初夏の鳥<野鳥の歳時記・2>』小学館【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991年5月20日(平成3)
- 5月
928. 『エミタイの持つ視線—アフリカがアフリカを語るとき—』世界【収録誌】『秋の映画手帖』文藝春秋, 1988年10月1日(昭和63)
929. 『踊るシヴァ』—藍いろの場所からの挿話・Ⅳ, 一ある生涯の七つの場所・84—, 海【収録誌1】『椎の木のほitori—ある生涯の七つの場所7』中央公論社, 1988年1月20日(昭和63)【収録誌2】『椎の木のほitori』中公文庫, 1993年1月10日(平成5)
930. 『季節という日々の祭り』(原題は無題)久保田淳『花のもの言う』推薦文, 新潮選書【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)
931. 『古きよきプロヴァンスから』(原文は無題)杉富士雄訳『ミストラル「青春の思い出」とその研究』推薦文, 福武書店【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)
- 5月7日
916. 『わが音楽遍歴の風景(4)なによりもまず音楽』(原題「音楽の聞える場所」) FM fan 【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日(平成5)
- 5月21日
916. 『わが音楽遍歴の風景(5)魔神の棲み家で』(原題「音楽の聞える場所」) FM fan 【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日(平成5)
- 6月
932. 『こんな本を買いました』アンケート回答, 時事英語研究
933. 『作者の言葉』『ポセイドン仮面祭』パンフレット
934. 『若者たちのなかで』オッターマガジン Vol.11【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991年5月20日(平成3)
935. 『われらの中のルネサンス』マイクロゴス演奏会プログラム【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日(平成5)
- 6月4日
916. 『わが音楽遍歴の風景(6)失われた心を求めて』(原題「音楽の聞える場所」) FM fan 【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日(平成5)
379. 刊行:『パリの手記 | 海そして変容』河出文庫
- 6月18日
916. 『わが音楽遍歴の風景(7)なぜ第九なのか』(原題「音楽の聞える場所」) FM fan 【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日(平成5)
- 6月20日
936. 『時代を生きるとは何か—最新の精神状況を示すもの—』毎日新聞 夕刊【収録誌】『遙かなる旅へ

- の追想』新潮社, 1992年4月20日(平成4)
- 6月25日
791. 刊行:『国境の白い山』短篇小説集, 中央公論社
937. 刊行:『時の果実』エッセー集, 朝日新聞社
938. 『時の果実—あとがきにかえて』『時の果実』朝日新聞社
7月
939. 『パリの光と影に同化して—福本章の世界—』対談(福本章)銀座百店 No.356
940. 『福永武彦における愛と死』木曾福島・第4回フィルムハウス上映会パンフレット【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)
941. 『本の〈快楽〉への手引』波【収録誌1】『とんぼの本』内容見本, 新潮社, 1985年7月(昭和60)
【収録誌2】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)
- 7月2日
916. 『わが音楽遍歴の風景(8)雨の掬 地の掬』(原題「音楽の聞える場所」) FM fan 【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日(平成5)
- 7月10日
942. 『“卑俗な記録”が栄養に』『私の読書術』人の世界シリーズ3, かのう書店
7月16日
916. 『わが音楽遍歴の風景(9)荒々しい魔術』(原題「音楽の聞える場所」) FM fan 【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日(平成5)
- 7月27日
943. 『生活の中での文学』長崎での三井シンポジア・トゥモロウでの講演要旨, 長崎新聞, 1984年8月14日(昭和59)
- 7月30日
916. 『わが音楽遍歴の風景(10)生の息吹きの下で』(原題「音楽の聞える場所」) FM fan 【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日(平成5)
- 8月
944. 『野性の眼が捉えるもの—トルコ映画の衝撃力はどこからくるか—』キネマ旬報 8月下旬号【収録誌】『美しい人生の階段』文藝春秋, 1993年7月25日(平成5)
- 8月4日
389. 刊行:『パリの手記II 城そして象徴』河出文庫
- 8月9日
945. 『演技を演技して見せる映画「ドレッサー」の本質』週刊サンケイ
8月13日
916. 『わが音楽遍歴の風景(11)“拒絶する楽園”の意味』(原題「音楽の聞える場所」) FM fan 【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日(平成5)
- 8月27日
916. 『わが音楽遍歴の風景(12)バロック協奏曲の時間』(原題「音楽の聞える場所」) FM fan 【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日(平成5)
- 9月
946. 『内なる肖像へ』『阿部昭全作品 第8巻』月報, 福武書店【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)
947. 『「至福体験」を求めて—コリン・ウィルソン「フランケンシュタインの城」を読む』マリー・クレール 第22号【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)

948. 『黄昏の古都物語』藝術新潮【収録誌1】『黄昏の古都物語』限定版，湯川書房，1990年4月30日（平成2）【収録誌2】『黄昏の古都物語』有学書林，1992年7月31日（平成4）
949. 『ボルヘス断章』『ラテンアメリカの文学第1巻』月報，集英社【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社，1990年7月25日（平成2）
950. 『夢をめぐって』日本近代文学館 第81号【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社，1990年7月25日（平成2）
951. 『若い心のプリズム』（原題「心をときめかせるもの—〈風は国境を知らない〉を読んで」）斎藤ゆかり『風は国境を知らない』推薦文，河出書房新社【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社，1990年7月25日（平成2）
- 9月4日
399. 刊行：『パリの手記Ⅲ 街そして形象』河出文庫
- 9月10日
916. 『わが音楽遍歴の風景(13)ある幻想交響曲』（原題「音楽の聞える場所」）FM fan【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社，1993年10月25日（平成5）
- 9月15日
952. 刊行：『十二の風景画への十二の旅』短篇小説集，文藝春秋【収録誌1】『風の琴 二十四の絵の物語』文春文庫，1992年5月10日（平成4）【収録誌2】『辻邦生歴史小説集成第一巻・安土往還記・十二の肖像画による十二の物語・十二の風景画への十二の旅』岩波書店，1993年6月25日（平成5）
- 9月24日
916. 『わが音楽遍歴の風景(14)救済するものとして』（原題「音楽の聞える場所」）FM fan【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社，1993年10月25日（平成5）
- 10月
953. 『海の底の春』睡蓮の午後・2 海燕【収録誌】『水蓮の午後』福武書店，1990年5月15日（平成2）
954. 『新世界から』一董いろの場所からの挿話・I，一ある生涯の七つの場所・85—，中央公論文芸特集 復刊1号秋季号【収録誌1】『神々の愛でし海—ある生涯の七つの場所8』中央公論社，1988年11月25日（昭和63）【収録誌2】『神々の愛でし海』中公文庫，1993年3月10日（平成5）
955. 『生の喜びのある町を求めて』対談（草柳大蔵）BCS 建築業協会発行 第11号
956. 『近く夏に寄せて』新潮【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社，1991年5月20日（平成3）
957. 『靈感と日記との間』明日の友【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社，1990年7月25日（平成2）増刊号
- 10月4日
419. 刊行：『パリの手記Ⅳ 岬そして啓示』河出文庫
- 10月8日
916. 『わが音楽遍歴の風景(15)生と死の深淵から』（原題「音楽の聞える場所」）FM fan【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社，1993年10月25日（平成5）
- 10月22日
916. 『わが音楽遍歴の風景(16)〈美〉を通して 〈永遠〉へ』（原題「音楽の聞える場所」）FM fan【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社，1993年10月25日（平成5）
- 11月
958. 『霧の中の肖像から』『加賀乙彦短篇小説全集第4巻』月報，潮出版【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社，1990年7月25日（平成2）
959. 『モネとタルト・タタン 生きる喜びと芸術の力』鼎談（辻静雄，辻佐保子）NEXT 創刊号 <リテ

- ラリー・グールメ①>【収録誌】『ブルーストと同じ食卓で』辻静雄からの招待状，講談社，1986年4月2日（昭和61）
960. 『私のエコール・ド・パリ地図』（原題「エコール・ド・パリと私」）マリー・クレール 第24号【収録誌】『遙かなる旅への追想』新潮社，1992年4月20日（平成4）
- 11月4日
428. 刊行：『パリの手記Ⅴ 空そして永遠』河出文庫
- 11月25日
961. 『童話の国から来る手紙』小池邦夫著『絵てがみのすすめ』講談社【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社，1991年5月20日（平成3）
- 12月22日
962. 『葡萄酒とマンと貝島さんと』追悼文，『鎮魂曲一貝島明夫遺稿・追悼文集一』形象社【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社，1991年5月20日（平成3）
- 1985年1月（昭和60）
963. 『私の映画手帖 初めにまず小箱があって』婦人之友【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋，1988年10月1日（昭和63）
- 1月11日
964. 『虚の意味訪う時代—パリにて日本を考える』山梨日々新聞【収録誌】『遙かなる旅への追想』新潮社，1992年4月20日（平成4）
- 2月
965. 『単純に生きる』講演録，樺坂 第18号，不二聖心女子学院
966. 『パリの食卓から』本【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社，1991年5月20日（平成3）
967. 『私の映画手帖 映画は音楽で縫いとりされる』婦人之友【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋，1988年10月1日（昭和63）
968. 『私の好きな映画・監督・男優・女優』アンケート回答，マリー・クレール 第27号
- 2月18日
969. 『ある黎明に寄せて』仏蘭久淳子展パンフレット（1985.2.18～2.28），吉井画廊
- 3月
970. 『L' état de la critique』magazine littéraire
971. 『雪の道』一董いろの場所からの挿話・Ⅱ，一ある生涯の七つの場所・86—，中央公論文芸特集復刊2号春季号【収録誌1】『神々の愛でし海—ある生涯の七つの場所8』中央公論社，1988年11月25日（昭和63）【収録誌2】『神々の愛でし海』中公文庫，1993年3月10日（平成5）
972. 『私の映画手帖 幻想は映画に翼を与える』婦人之友【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋，1988年10月1日（昭和63）
973. 『ひとすじの道』（原題「一枚の写真・ひとすじの道」）『新潮日本文学アルバム十四 斎藤茂吉』新潮社【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社，1990年7月25日（平成2）
- 4月
974. 『私の映画手帖 サスペンスの花盛りの下で』婦人之友【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋，1988年10月1日（昭和63）
- 5月
975. 『ある詩的蘇りについて』推薦文，吉田城編『ブルースト書簡集』内容見本，臨川書店【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社，1990年7月25日（平成2）
976. 『私の映画手帖 東京の映画館をめくりながら』婦人之友【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋，1988年10月1日（昭和63）

5月15日

977. 『あとがき—〈即興喜劇 天使たちが街をゆく〉』『即興喜劇 天使たちが街をゆく』中央公論社

978. 刊行：『即興喜劇 天使たちが街をゆく』戯曲，中央公論社（1985・5/18～28 新宿・紀伊國屋ホールで「文学座」が初演 演出：加藤新吉）【収録誌】『天使たちが街をゆく』公演パンフレット，1989年12月（平成1）

5月17日

979. 『〈笑い〉について』毎日新聞 夕刊【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社，1991年5月20日（平成3）

6月

980. 『大人になること—「海辺のポーリーヌ」の恋の意味』キネマ旬報 6月下旬号 No.912【収録誌】『美しい人生の階段』文藝春秋，1993年7月25日（平成5）

981. 『生を肯定する「笑い」』木曾福島・第5回フィルムハウス 上映会パンフレット

982. 『その人は…—野上彌生子全集・再刊に寄せて—』推薦文，『野上彌生子全集』内容見本，岩波書店【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社，1991年5月20日（平成3）

983. 『バッハのなかに響くもの2』（原題「音楽を支える人間的暖かみ—私にバッハを刻んだ一枚のレコード—」レコード藝術「平均律クラヴィア曲集」E. フィッシャー【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社，1993年10月25日（平成5）

984. 『フィクションへの道—カルペンティエールとフェンテスをめぐって—』波【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社，1990年7月25日（平成2）

985. 『私の映画手帖 映画の楽しみはまず題名…』婦人之友【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋，1988年10月1日（昭和63）

7月

986. 『ルーヴルと最初に会った頃』本の窓 特集：ルーヴル【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社，1993年10月25日（平成5）

987. 『私の映画手帖 映画をまず〈劇〉としてみれば…』婦人之友【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋，1988年10月1日（昭和63）

8月

988. 『私の映画手帖 東京国際映画祭の周辺から』婦人之友【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋，1988年10月1日（昭和63）

8月20日

643. 刊行：『樹の声 海の声1』第1部・上，朝日文庫

989. 『野生と文明 ①ある旅への誘い』読売新聞 夕刊【収録誌】『遙かなる旅への追想』新潮社，1992年4月20日（平成4）

8月21日

989. 『野生と文明 ②シリア砂漠に立って』読売新聞 夕刊【収録誌】『遙かなる旅への追想』新潮社，1992年4月20日（平成4）

8月22日

989. 『野生と文明 ③南太平洋の青い海』読売新聞 夕刊【収録誌】『遙かなる旅への追想』新潮社，1992年4月20日（平成4）

8月23日

989. 『野生と文明 ④インドとアフリカ』読売新聞 夕刊【収録誌】『遙かなる旅への追想』新潮社，1992年4月20日（平成4）

9月

990. 『私の映画手帖 アフリカ，映画，そしてウッディ・アレン…』婦人之友【収録誌】『私の映画手帖』

- 文藝春秋, 1988年10月1日(昭和63)
- 9月7日
991. 『雲の宴』朝日新聞(→1987年1月7日, 487回連載)【収録誌1】『雲の宴』上, 下, 朝日新聞社, 1987年3月20日(昭和62)【収録誌2】『雲の宴 上』朝日文庫, 1990年1月20日(平成2)/『雲の宴 下』朝日文庫, 1990年2月20日(平成2)
- 9月20日
643. 刊行: 『樹の声 海の声2』第1部・下, 朝日文庫
- 10月
992. 『私の映画手帖 映画がまだ喋らなかった頃…』婦人之友【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋, 1988年10月1日(昭和63)
- 10月20日
643. 刊行: 『樹の声 海の声3』第2部・上, 朝日文庫
993. 『遠い外国語 近い外国語』『外国語ABZ<エッセイ おとなの時間>シリーズ, 新潮社【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)
- 10月26日
994. 『日本の美の根底にあるもの』講演, 於・京都産業会館シルクホール, 学習院第29回公開講演【収録誌1】『学習院公開講演集第2集』1988年3月20日(昭和63)【収録誌2】『詩と永遠』岩波書店, 1988年6月30日(昭和63)
- 11月
995. 『絶望をくぐりぬけた喜劇—この映画の肖像・オペラ・様式について—』キネマ旬報 1月下旬号 No.923【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋, 1988年10月1日(昭和63)
996. 『プロに聞く』談話, テルモ・プラザ No.22
997. 『わがブルースト体験から』『ブルースト全集第5巻』月報8, 筑摩書房【収録誌】『永遠の書架にたちて』新潮社, 1990年7月25日(平成2)
998. 『私の映画手帖 視覚の魔術が全身を揺さぶって…』婦人之友【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋, 1988年10月1日(昭和63)
- 11月8日
999. 『<夜の扉>を開きつつ』村松定史著『夜の扉—プレヴェールと芭蕉』序文, 沖積社【収録誌】『時刻のなかの肖像』新潮社, 1991年5月20日(平成3)
- 11月16日
1000. 『新しい文化コンテクストにおけるフランスと日本』講演, 於・明治学院大学【収録誌】『言葉が輝くとき』文藝春秋, 1994年8月10日(平成6)
- 11月20日
643. 刊行: 『樹の声 海の声4』第2部・下, 朝日文庫
- 12月
64. 刊行: “LENTI PEVNOST” PRAHA VYSEHART (『夏の砦』チェコ語版)
1001. 『バッハのなかに響くもの3』(原文は無題)推薦文, 聖トーマス教会合唱団・ゲヴァントハウス管弦楽団日本公演パンフレット【収録誌】『美神との饗宴の森で』新潮社, 1993年10月25日(平成5)
1002. 『私の映画手帖「それから」と様式とフェリーニと…』婦人之友【収録誌】『私の映画手帖』文藝春秋, 1988年10月1日(昭和63)
- 12月20日
643. 刊行: 『樹の声 海の声5』第3部・上, 朝日文庫
1003. 刊行: レーモン・オリヴェ著『コクトーの食卓』翻訳, 講談社
887. 『霧中の炙樞』(「霧の樞」の中国訳) 訳林 1985年第3期, 江蘇人民出版社

以下次号